

# 栃木県内における後期旧石器時代の東北頁岩について（その1）

芹澤清八<sup>(1)</sup>

はじめに  
1 栃木県の実況

栃木県内の東北頁岩製石器 出土遺跡一覧  
石器実測図

栃木県の後期旧石器時代の全般を通して、また縄文時代への橋渡しとなる神子柴段階から草創期では大型の尖頭器が、さらに縄文時代前期にはやはり大型な挟入尖頭器（両尖匕首）など、本県には明らかに東北地方を供給元とする珪質ないしは硬質頁岩が原産や素材剥片、また製品として搬入されていることは疑いようもない事実である。既に下総台地では、これらの石材の使用について幾つかの時期が確認され、栃木・茨城方面を経由してもたらされたとの論考もある。このことを裏付けるためにも、先ず東北からの玄関口である本県の状況を的確に把握することが必要である。

## はじめに

2022年の岩宿フォーラムでは、「東北頁岩と北関東地方」と題し、量的に僅少であるものの当該地域において岩宿時代各期に存在する東北頁岩に焦点を当てている。このテーマについて議論するにあたっては、渋谷孝雄氏による「加藤稔と東北地方の旧石器時代研究」の基調講演（渋谷2022）、基調報告では外部より中村由克氏に「東北地方の珪質頁岩（東北頁岩）について」（中村2022）、また橋本勝雄氏に「下総台地からみた旧石器時代の東北頁岩製石器の特質」（橋本2022）をお願いし、そしてさらにフォーラム実行委員6名により群馬県及び周辺地域の状況が報告されている。

今回、珪質頁岩もしくは硬質頁岩と呼ばれる石器石材を東北頁岩として一括りにしているが、このことについては趣旨説明で明らかにされている（岩宿フォ2022）。しかしその原産地となると、中村氏による詳細な検証がある。群馬県下の多くが山形系の「寒河江D」としながらも、色調や光沢の具合、微化石の状況等のバリエーションから高精度の石材鑑定が原産地推定に極めて有効と説いている。

## 1 栃木県の実況

フォーラムでは、茨城県・栃木県の実況を石川太郎氏が報告を行い（石川2022）、栃木県については芹澤が作成した当日資料が配布された<sup>1)</sup>。ここでは当日資料を再録することを岩宿フォーラム実行委員より了解をいただき、またこの資料を踏まえ栃木県の実況を（その2）で検討するものである。なお、石器実測図についてはキャプションの変更はあるものの配布資料のまま<sup>2)</sup>、また出土遺跡一覧表については若干の訂正を加えている。

さて一覧表及び掲載図には、本県における発掘調査等によって、東北頁岩が出土した遺跡を掲載している。それはあくまでも報告書記載の珪質頁岩及び硬質頁岩とする石材名に従っており、専門家による石材鑑定以外についてはすべてが東北頁岩とする根拠に乏しい。

本県における石材の認定については、幾つかの段階を経て今日に至っているが、その一つは報告書作成時期

(1) 株式会社シン技術コンサル 文化財調査部

に關係するものである。別表内の栃木市赤羽根遺跡（田代1984）では、石材名の認定について県内に類する研究者もなく、調査者がこれまでの経験から東北系の珪質頁岩と同一の石材名として頁岩と記載した経緯がある。古墳時代中期の大集落として注目された赤羽根遺跡であるが、削片系細石核の出土はその後の研究に必須の資料である。

一覽表への掲載はないが、小山市本郷前遺跡（芹澤1985）では石材鑑定を県内の地質に詳しい研究者にお願いしている。石器の幾つかには流紋岩や珪化木との石材名が与えられたが、その幾つかには東北頁岩に加えらるべき石材であると確認されるのは数年後のことである。

1990年以降、栃木県立博物館に地質及び岩石を専門とする荒川竜一氏が赴任されてからは、特に岩宿及び縄文時代を通じ各遺跡からの出土石器について石材鑑定をお願いすることが通例となり、同一鑑定者による石材名の統一は、石材研究上極めて有効な結果をもたらすこととなる。

しかし近年では、新たに高原山山麓より珪質泥岩、さらに下総半島の各所より珪質頁岩の産出とその利用が確認されたことにより（田村・国武・吉野2003、田村2005）、なおいっそう識別が混沌としている。実際に、那須町内出土や伏原根本遺跡出土の尖頭器の報告では（森嶋2015）、珪質泥岩としながら括弧書きにて珪質頁岩の名称も与えられ、また寺平遺跡では白滝頁岩の利用も報じられている（中村2015）。これまで北関東では、出土する珪質及び硬質頁岩について、すべて東北からの搬入と一括りにしてきたが、考古学を専門とする我々にとってこれを認定するには、中々ハードルが高く困難な部分と言えよう。

さて、別表の出土層位では、下位より基本となるハードローム、暗色帯（上位にAT）、ハードローム、ソフトローム（上位に今市、七木板バミス）及び漸移層からの出土を明示し、出土石器群の様相から岩宿フォーラムによる群馬Ⅰ～Ⅴ期の根拠としている（岩宿フォ1994・2010）。しかし、中には後世の遺構内や攪乱等からの出土もあり、複数の時期が混在する遺跡もある。それらの遺跡については、一覽表の巻末に掲載し差別化を図っている。なお、出土層位が不明であっても、細石器段階のⅤ期や神子柴段階から草創期の石器群などは一見して所屬時期が明確であるため、各々の時期に位置付けている。

## 注

- 1) 岩宿フォーラム実行委員は、今回のテーマを設定した後に、早い段階で群馬県埋蔵文化財調査事業団が保管する資料の確認を行っている。その際、茨城及び栃木県の基調報告については、石川太郎氏が担当することとし、栃木の関連資料については芹澤がまとめることとなった。本来ならば、栃木の資料もフォーラム予稿集にまとめられるべきであるが、予定を大幅に超える枚数であったため、当日の配布資料とした。
- 2) 出土遺跡一覽表では、出土石器の時期を群馬編年のⅠ～Ⅴ期に準拠している。これを南関東の編年に合わせるならばⅠ期は立川ロームX・IX層、Ⅱ期はⅦ・Ⅵ層、Ⅲ期はⅤ・Ⅳ層、Ⅳ期は砂川期と槍先形尖頭器、Ⅴ期は細石器の時期となる。掲載した石器は基本的に縮尺2/3に統一しているが、中にはそれ以外のものもある。スケールを確認されたい。

## 参考文献

- 石川太郎 2022「茨城県・栃木県における旧石器時代の東北頁岩の利用について」『東北頁岩と北関東地方』岩宿博物館 岩宿フォーラム実行委員会
- 岩宿フォーラム 1994『群馬の岩宿時代の変遷と特色』岩宿文化資料館 岩宿フォーラム実行委員会
- 2010『北関東地方の石器文化の特色』岩宿博物館 岩宿フォーラム実行委員会
- 岩宿フォーラム実行委員会 2022「東北頁岩と北関東地方」『東北頁岩と北関東地方』岩宿博物館 岩宿フォーラム実行委員会
- 渋谷孝雄 2022「加藤峠と北関東地方の旧石器時代研究」『東北頁岩と北関東地方』岩宿博物館 岩宿フォーラム実行委員会

- 芹澤清八 1985「IV本郷前遺跡の発掘調査 イ、先土器時代」『鷹の巣前遺跡 本郷前遺跡 向野原遺跡』栃木県教育委員会（財）栃木県文化振興事業団
- 田代 隆 1984「第IV章 発見された遺物 第2節 石器」『赤羽根』栃木県教育委員会（財）栃木県文化振興事業団
- 田村 隆・国武貞克・吉野真如 2003「下野—北総回廊外縁部の石器石材（第一報）—特に珪質頁岩の分布と産状について—」『千葉県史研究』第11号 千葉県
- 田村 隆 2005「氷河時代の旅」『発掘された日本列島2005—新発見考古速報展 地域展展示解説』千葉県立中央博物館
- 中村信博 2015『寺平遺跡発掘調査報告書』市貝町教育委員会
- 中村由克 2022「東北地方の珪質頁岩（東北頁岩）について」『東北頁岩と北関東地方』岩宿博物館 岩宿フォーラム実行委員会
- 橋本勝雄 2022「下総台地からみた旧石器時代の東北頁岩製石器の特質—関東地方の調査成果を中心として—」『東北頁岩と北関東地方』岩宿博物館 岩宿フォーラム実行委員会
- 森嶋秀一 2015「栃木県那須町出土の大型尖頭器について」『栃木県立博物館研究紀要』第32号 栃木県立博物館

## 栃木県内の東北頁岩製石器出土遺跡一覧

No.	時期	遺跡名	地点・文化層	全体数量	埋藏頁岩製の点数	埋藏頁岩製石器の内容	備考	資料所蔵者	調査報告書
1	1期	上林遺跡 かみぞやいせき 出土層位は褐色帯下部	第2文化層 A-01→A-64にエ リア区分	3,564点 (エリア外24)	38点 (外21%) チャート2854, 黒曜石382, 流紋岩53, 砂岩43, ガラス質 黒色安山岩42, ホルンフェルス 26, 黒色頁岩34, 頁岩142	ナイフ形石刃6, 磨削薄刃 剥片14, 石核2, 剥片16	石材鑑定は幸田徹 氏	佐野中教委	出野博 2004『上林遺跡』 佐野中教委委員会
2	1~1期	木志白遺跡群 おおしじょうせきぞん 出土層位はAT層位の褐色 帯中	1地区 1~37プロック 1~14地区 1・27プロック 51地区 1~37プロック 1~4プロック	31点 32点 21点 35点 95点	10点 (32%) 安山岩112, 流紋岩2など 3点 (9%) 流紋岩17, 安山岩4, ホルン フェルス32など 4点 (11%) 黒曜石6, 流紋岩4など 8点 (23%) 安山岩15, 黒曜石7, 流紋岩3 1点 (1%) 安山岩43, 黒曜石29, 流紋岩 6, ホルンフェルス5など 1点 (0.003%) 安山岩287, ホルンフェルス 73, 流紋岩9など	ナイフ形石刃1, 磨削1, U フレ4, 剥片4 磨削1, Uフレ1, 石核1 磨削1, 切斷剥片2, 剥片1 台形磨石1, 剥片7 磨削1 切斷剥片1	石材鑑定は独立博物館 龍 荒川竜一 氏	宇都宮県教育委員会 (河内94)	戸田正勝 2000『木志白遺跡』 群衆調査報告書(自治体時 代編)・河内町教育委員会
3	1期	上神王・茂原遺跡 かみのかみ(おほいせき) 出土層位は褐色帯をむ き出し遺跡は褐色帯 集計遺跡は褐色帯	第1プロック 1~6プロック	284点	40点 (14%) 非貫直岩20点の混合資料 黒色頁岩質流紋岩17点の黒 石質料あり	石核1, Rフレス3, 剥片36 (プロック外に同一石核のナ イフ形石刃あり)	石材鑑定は独立博物館 龍 荒川竜一 氏	栃木県教委	安永直一 2001『上神王・茂 原 及び向原 黒曜石調査 報告書』栃木 県教育委員会 学術文化財団
4	1期	坂崎遺跡 つるぞかいせき 出土層位は褐色帯上部~ ハードローーム	プロックB	251点	3点 (0.1%) チャート110, ホルンフェルス 46, 安山岩36, 玉髓36, 黒曜 石10, 流紋岩9, 流紋岩質流紋 岩92など	ナイフ形石刃1, 磨削1, U フレ1	石材鑑定は独立博物館 龍 荒川竜一 氏	栃木県教委	斎藤 弘 1994『坂崎遺跡』 栃木県教育委員会 編ともち 生達学術文化財団
5	1期	伊勢崎日蓮遺跡 いせきにいせき 第1文化層 1151~13号 2154~9号 3区10号プロック 出土層位は褐色帯下部 上部に1~57プロックを伴 う第1文化層あり 出土層位は褐色帯上部~ ハードローーム 埋藏頁岩は僅微	1号プロック 2号プロック 3号プロック 4号プロック	25点 243点 43点 (98) 26点	5点 (20%) 黒色安山岩13, 流紋岩質流紋 岩13など 128点 (53%) 流紋岩質流紋岩74, 流紋 岩質流紋岩32, 黒色安山岩7な ど 20点 (外4.47%) 黒色頁岩質流紋岩10, 黒色安山 岩16, 流紋岩質流紋岩162 など 10点 (38%) 流紋岩質流紋岩9, 黒色安山岩 3, 流紋岩5, 玉髓2など	磨削2, 砂片3 石刃18, 石核3, Rフレス3, Uフレ1, 剥片63, 砂片40 石刃3, Uフレ1, 剥片12, 砂片4 石刃2, 石核2, 剥片6	石材鑑定は独立博物館 龍 荒川竜一 氏	栃木県教委	斎藤 弘 2000『伊勢崎日蓮 遺跡』栃木県教育委員会 編 本県文化財団非貫直

			44点	30点 (68%) 流紋岩質溶結凝灰岩11、黒色 安山岩25点	石23、石隕2、薄片13、骨 片12							
			64点	流紋岩質溶結凝灰岩17、黒色 流紋岩質溶結凝灰岩4女 安山岩14、流紋岩質凝灰岩4女 と	骨頭1、石刃2、鋭石1、薄 片13、骨片7							
			33点	8点 (24%) 流紋岩質溶結凝灰岩13、流紋 岩質凝灰岩4、黒色安山岩3、 黒曜石3点と	薄片8							
			22点	4点 (18%) 流紋岩質溶結凝灰岩2、石 隕2点と	薄片2、骨片1、骨頭1							
			27点 (外17)	9点 (外4.53%) 流紋岩質凝灰岩2点と	石刃2、楔形石器1、薄片 3、骨片21							
			35点 (外1)	流紋岩質凝灰岩18、黒色安山 岩5点と	石刃1、薄片5、骨片3							
6	寺平遺跡 （赤い 2番の層（0.4m） 出土層位はハンドローム 下部部）		132点 594点	8点 (6%) 流紋岩質凝灰岩17、黒色安山 岩47、児石3点と	ナイフ形石器2、尖刃頭部 1、二次加工断片2、薄片3		市貝町教委			2015『寺平遺跡発 掘調査報告書』市貝町教育委 員会		
7	三ノ谷遺跡 （赤い 第1文化層 出土層位はハンドローム 下部部）		506点 215点	8点 (8%) 流紋岩質凝灰岩は 2点と	ナイフ形石器1、骨片7		栃木県教委			1990『三ノ谷東・ 谷間野北遺跡』栃木県教育委 員会 栃木県東北文化振興事業 団		
8	上林遺跡 （赤い 第1文化層 出土層位はハンドローム 下部部）		96点 C2, C3, 集中 以外	1点 (0.45%) 黒曜石、安山岩主体 5点	ナイフ形石器1 尖頭器1、ナイフ形石器1、 矢頭器1、骨器2 有頭尖頭器2、形器1、ス ボーン2、骨器1		佐野市教委			2004『上林遺跡』 佐野市教育委員会		
9	エダコ遺跡 （赤い 文化層はハンドローム上 位～ソフトローム 内）		12 2,005点	骨かに10点程度 90%は児石山系の屑状チャー ー ト	大型骨片1、有頭尖頭器 1、尖頭器1、鏃器1、骨器 1、石刃5など これ以外に凝灰岩凝灰岩の大 型石刃類の断片複数あり		佐野市教委			2001『エダコ遺跡』 栃木県教育委員会 御とちぎ 先端学研文化財団		
10	寺野東遺跡 （赤い 2番の層（0.4m） 出土層位はハンドローム 下部部）		6点	黒曜石、有頭尖頭器 2、骨器1、骨頭1	ナイフ形石器2、骨頭1 矢頭器1、骨器2 有頭尖頭器1、形器1、ス ボーン2、骨器1		栃木県教委			1968『寺野東遺跡 発掘調査報告書』栃木県教育 委員会 栃木県東北文化振興事業 団		

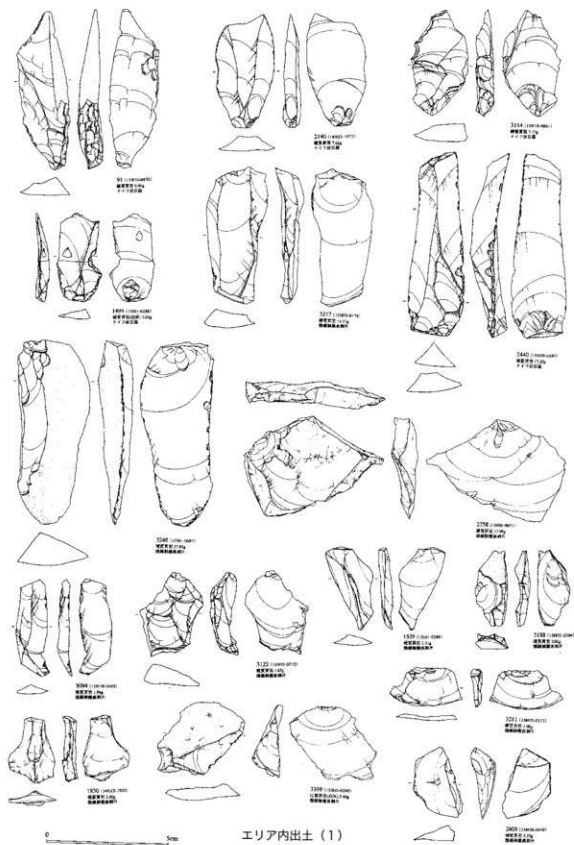
No.	時期	遺跡名	地点・文化層	全体数量	埋蔵品等の品数	埋蔵品名	種類	発掘者	調査報告書
11	IV期	八幡組東遺跡 やばなほのロビいほき 出土副位はAs-IPより上 位で、As-XPに近い位置	第1プロトック 第2プロトック 第3プロトック 第4プロトック 第5プロトック 第6プロトック 第7プロトック 第8プロトック 第9プロトック プロトック外 第2プロトック 第3プロトック 第6プロトック 第10プロトック 第11プロトック 第12プロトック	60点 49点 286点 21点 42点 31点 36点 44点 12点 30点 519点 80点 504点 434点 582点 644点	37点 (62%) 埋蔵銅灰岩7, 油性頁岩4, 安 山岩4, チャート3など 13点 (27%) 埋蔵銅灰岩21, 安山岩14, 黒 曜石1 17点 (32%) 埋蔵銅灰岩28, 銅灰岩22, 黒曜石6など 21点 (100%) ナイフ形石器2, 磨石1, 円 形磨石1, 磨石1など 37点 (88%) 埋蔵銅灰岩2, 油性頁岩2, ホ ルンフェルス1 29点 (94%) 油性頁岩1, チャート1 23点 (64%) 磨石1, チャート1, 珪質 銅灰岩32, チャート1, 珪質 銅灰岩1 38点 (86%) ホルンフェルス2, チャート2 など 6点 (50%) 銅灰岩1, 珪質銅灰 岩1, チャート1など 15点 (50%) 黒曜石3, 油性頁 岩1, 玉髄2など 165 (0.042%) 黒曜石514など 3点 (0.04%) 磨石150, 珪質銅灰岩8, 花崗 岩, チャート5, 安山岩燧炭 質頁岩3など 0点 (0.0%) 磨石銅灰岩32, 玉髓19, チャート15, 珪質 銅灰岩11, 銅灰質頁岩10, 珪質 燧炭など 1点 (0.002%) 磨石127, 玉髓4など 8点 (0.014%) 磨石22, チャー ト1, 珪質銅灰岩15など 6点 (0.012%) 磨石8, 珪質銅灰岩 296など	磨石1, 磨石1, Uフレム, R フレム3など ナイフ形石器1, 磨石鉄石磨 石1, 磨石1, 石核1など ナイフ形石器2, 磨石3, 鉄 石1, Rフレム2, Uフレ ム1, 磨石16など 唯一の頭蓋骨など ナイフ形石器2, Uフレム, 磨石7など ナイフ形石器5, 磨石1, 円 形磨石1, 磨石1など 磨石1, 磨石1, 磨石2 磨石2, 磨石1, 円形磨 石1, 磨石1, Uフレム3など ナイフ形石器1, 鉄入石器 1, 磨石1, 石核2など ナイフ形石器1, 石核2など ナイフ形石器6, 磨石1, U フレム4, Rフレム3など 磨石1	石村孝志は低立発掘 類 飛田徹一	石村孝志は低立発掘 類 飛田徹一	調査報告書 斎藤 弘 1996 『八幡組東遺 跡』 栃木県教育委員会 発掘 本誌文化財調査班 山口耕一 1990 『多功南遺跡 跡(巨石器・燧炭)』 栃木県 教育委員会 発掘本誌文化財 調査班

栃木県内における後期旧石器時代の東北頁岩について (その1)

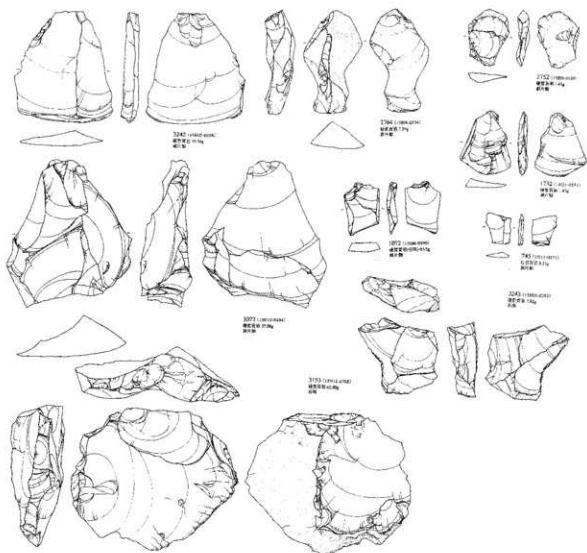
13	IV期	赤坂遺跡 でんぱいせき 第1文化層 (A地点) 出土層位はソフトラーム 中位	174点 30点 107点 132点 644点 265点	2点 (0.001%) 黒曜石109, チャート2など 6点 (0.2%) 47点 (30%) 流紋岩46, チャート23, 安山 岩9など 105点 (40%) 法賢流紋岩50, チャート57, 流紋岩46など 27点 (1%) チャート155, 流紋岩54, 碧 子岩など 62点 (24%) 流紋岩177, チャート40, 碧玉 片5, 石塊1, 燧石遺物 263点 21, 安山岩15, 法賢流紋岩 14, ホルンフェルス9など 44点 (18%) 尖頭部未成品1, 薄片4, 石 チャート105, 流紋岩2, 玉 粒2, 燧石遺物1, ドリ 17, 黒曜石9, 法賢流紋岩2 など 7点 (0.00%) 3点 17点	尖頭部2 尖頭部1, 細石刃核1, 薄片 尖頭部1, 尖頭部未成品1, 薄片5 尖頭部5, 尖頭部未成品2, 薄片1, 燧石2, 石核4, 薄 片91 薄片27 尖頭部未成品1, 燧石2, 燧 石片5, 石塊1, 燧石遺物 1, 燧石薄片2, 薄片50 尖頭部未成品1, 薄片4, 石 チャート105, 流紋岩2, 玉 粒2, 燧石遺物1, ドリ17, 黒曜石9, 石片2, 薄片32 3点 ナイフ形石器3, 尖頭部2, ナイフ形石器3, 尖頭部2, Uフレ1 ナイフ形石器1, 尖頭部2, 二次加工薄片1 Uフレ2以外は薄片 (燧石類の燧石なし) 燧石1, Uフレ1 源片41 源片1 他に細石刃あり	市目町教委 黒曜石は建行蔵ほか	中村信博「2015『古事類雑誌』 黒曜石調査報告』市目町教育委 員会 香澤 浩「1996『西海遺蹟』 栃木県教育委員会 栃木県 文化芸術事業団 塚本節也「1990『小倉大神社 遺蹟』栃木県遺蹟・栃木県 教育委員会 栃木県文化振 興事業団 上野隆博「1996『西海遺蹟』 栃木県教育委員会 栃木県 文化芸術事業団 田代 隆「1984『赤坂遺蹟』 栃木県教育委員会 栃木県文 化芸術事業団 田代 隆「1990『三ノ宮・東・ 谷畑野北遺蹟』栃木県教育委 員会 栃木県文化芸術事業 団	
14	IV期	赤坂遺跡 にしろいせき	3点	3点 (0.00%)	3点 17点	3点 ナイフ形石器3, 尖頭部2, ナイフ形石器3, 尖頭部2, Uフレ1	栃木県教委	香澤 浩「1996『西海遺蹟』 栃木県教育委員会 栃木県 文化芸術事業団
15	IV期	小倉大神社遺蹟 おぐらみすじょういせき 出土位置はローム層上位 赤坂遺跡の遺物内出土	19点	4点 (21%) チャート5, 流紋岩4, 燧石3	4点 チャート5, 流紋岩4, 燧石3	ナイフ形石器1, 尖頭部2, 二次加工薄片1	栃木県教委	塚本節也「1990『小倉大神社 遺蹟』栃木県遺蹟・栃木県 教育委員会 栃木県文化振 興事業団 上野隆博「1996『西海遺蹟』 栃木県教育委員会 栃木県 文化芸術事業団
16	N~V期	赤坂遺跡 にしろいせき 出土層位は今バミス直 下のソフトラーム上部	328点 60点	101点 (21%) 流紋岩42, 流紋岩24 など 27点 (39%) 安山岩27, 砂岩9, 流紋岩頁岩 7など 41点 (51%) 燧石頁岩13, 流紋岩49, 安山岩7など 2点	101点 (21%) 流紋岩42, 流紋岩24 など 27点 (39%) 安山岩27, 砂岩9, 流紋岩頁岩 7など 41点 (51%) 燧石頁岩13, 流紋岩49, 安山岩7など 2点	燧石1, Uフレ1 源片41 源片1 他に細石刃あり	栃木県教委	香澤 浩「1996『西海遺蹟』 栃木県教育委員会 栃木県 文化芸術事業団 田代 隆「1984『赤坂遺蹟』 栃木県教育委員会 栃木県文 化芸術事業団 田代 隆「1990『三ノ宮・東・ 谷畑野北遺蹟』栃木県教育委 員会 栃木県文化芸術事業 団
17	V期	赤坂遺跡 あかたけいせき	2点	2点	2点	源片1 他に細石刃あり	栃木県教委	香澤 浩「1996『西海遺蹟』 栃木県教育委員会 栃木県 文化芸術事業団
18	IV期前	三ノ宮北遺蹟 さんのみつこいせき 甲地区 第1文化層 出土層位はソフトラーム 上位~細砂層	1,463点	276点 (19%) 法賢頁岩, 流紋岩主体	276点 (19%) 法賢頁岩, 流紋岩主体	燧石形尖頭部3, 燧石部2 燧石形尖頭部1, 燧石部1 他に細石刃あり	栃木県教委	香澤 浩「1996『西海遺蹟』 栃木県教育委員会 栃木県 文化芸術事業団 田代 隆「1984『赤坂遺蹟』 栃木県教育委員会 栃木県文 化芸術事業団 田代 隆「1990『三ノ宮・東・ 谷畑野北遺蹟』栃木県教育委 員会 栃木県文化芸術事業 団

No	時期	遺跡名	地点・文化層	全体数量	埴輪瓦器製の品数	埴輪瓦器製石器の内容	備考	資料所蔵者	調査報告書
19	古墳期	山越北遺跡 やまごきまいせき	包名塚出土		3点	半月形石器1、尖頭器1、櫛 目1 荒形頭器1、神子葉型尖頭 器1、ウツレ1	石材鑑定は独立博物館 個人蔵 個人蔵	新本県教委 新本県教委	上野修一 1998『山越北遺跡・倉 沢・台跡地・開口遺跡・船木 県教育委員会 新本県文化 振興事業団 森崎秀一 2000『新本県教育振興 事業団 発掘調査報告書』新本 県教育委員会 新本県文化 振興事業団
20	V期～ 古墳期	那須宮部遺跡 なすのみやのいせき	使臣の遺構内出 土		3点		石材鑑定は報告者	新本県教委	
21	古墳期	川本谷遺跡 かわのきまいせき	一括採取資料	29点	14点 (48%) 安山岩、チャート4、炭紋岩 他石材に神子葉型石斧3、尖 頭器7、鏃器1、簡部2、石 斧調整剥片1など	簡部5、簡部5 ドリカ2 他石材に神子葉型石斧3、尖 頭器7、鏃器1、簡部2、石 斧調整剥片1など	個人蔵 大田原市指定 文化財	個人蔵	若原浩八 1989『川本谷遺跡 の黒曜石について』『川本谷遺 跡』黒曜石教育委員会 芹澤清八 1990『船木川田本 谷遺跡長年の神子葉型石器研 究』『縄文時代1』縄文文化研究 会
22	古墳期	舟原田山遺跡 ふなはらのやまのいせき	使臣の遺構内出 土	10点	15点 (70%) 黒色安山岩2、埴輪灰質白 磁瓦器1	尖頭器2、簡部剥片2、石斧 4、石杖4、鏃器3 大形尖頭器	大田原市教委	大田原市教委	舟原田山遺跡 大田原市教育委員 会
23	古墳期	谷野野遺跡 やののののいせき	単独出土		1点	大形尖頭器未品	石材鑑定は報告者	新本県教委	田代 隆 1993『谷野野東・倉 谷野野西・上芝遺跡』新本県 教育委員会 新本県文化振 興事業団
24	古墳期	伏原根木遺跡 ふきはねのきまいせき	単独出土		1点		石材鑑定は報告者	個人蔵	森崎秀一 2011『船木県東部 の縄文遺跡』『民家の歴史と文 化』
25	古墳期	船渡遺跡(船中遺跡) ふなわたのいせき	C区グリッド出土		2点	大形尖頭器の尖頭器1本 大形の石杖のナイフ身石器中 他石材に片刃石斧3	石材鑑定は独立博物館 個人蔵	新本県教委	若原浩八 1991『船中谷遺跡 発掘調査報告書』新本県教育委 員会 新本県文化振興事業 団
26	古墳期	那須町内出土 なすらやうのいせき	採取資料		1点	大型尖頭器	石材鑑定は報告者	個人蔵	森崎秀一 2015『船木県東部 町内出土の大型尖頭器について』 『船木県立博物館研究紀要』第 12号 新本県教育委員会 1993『船 木県東部発掘調査遺跡・送笠遺 跡調査報告書』
27	古墳期	湯沢遺跡 ゆざわのいせき	採取資料		1点	大型尖頭器	石材鑑定は報告者	那須町教委	
28	古墳期	小深遺跡 おこふのいせき	採取資料		1点	大型の本葉形尖頭器	石材鑑定は報告者	新本県教委	中村紀男 1964『船木県小深 発見の尖頭器について』『若木 考古』70号 國學院大学
29	III～IV期	間々田六本遺跡 ままただのむくろのいせき	3号墳周辺出土	62点	16点7 炭紋岩、黒曜石、安山岩など 他の石杖のナイフ身石器中 (すべて石材認定なし)	ナイフ形石器1、石刃含む 片15 他の石杖のナイフ身石器中 (すべて石材認定なし) 他にナイフ柄石 器1、櫛石1、石斧1、石刃4、R フレ1	石材鑑定は報告者	新本県教委	片原謙三 1997『間々田地区 遺跡群1』新本県教育委員会 新本県文化振興事業団
30	II期 III～V期	八幡遺跡 やっぴのいせき	第1プロック 土	2点	1点 (No7)	他にナイフ柄石 器1、櫛石1、石斧1、石刃4、R フレ1	個人蔵	新本県教委	玉橋さやか 2001『八幡遺跡 (本文巻1)』新本県教育委員 会 船とろろ生葉型文化財 団
31	IV期	西山遺跡 にしやまのいせき	プロック外・覆 瓦出土	37点 も復元か	11点 (29%)	ナイフ形石器2、尖頭器2、 鏃器1、簡部3、縦長剥片 2、石杖1	個人蔵	小山県教委	松井 景 1996『西山遺跡発 掘調査報告書』小山県教育委 員会

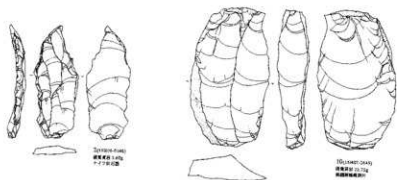




第1図 上林遺跡 第II文化層出土石器 (1)



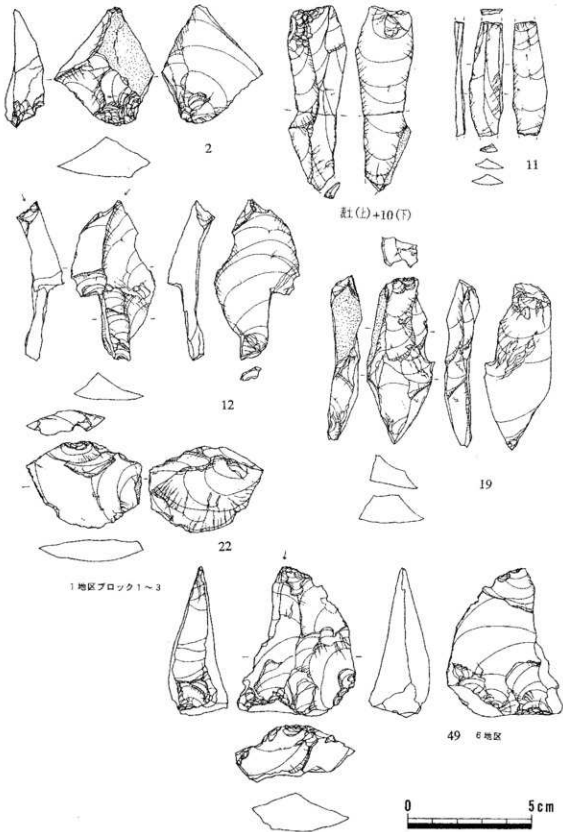
エリア内出土 (2)



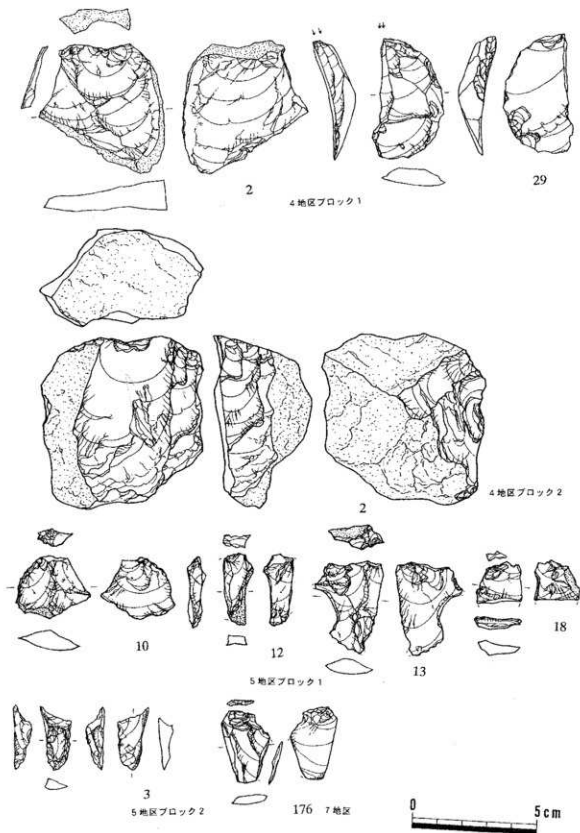
エリア外出土



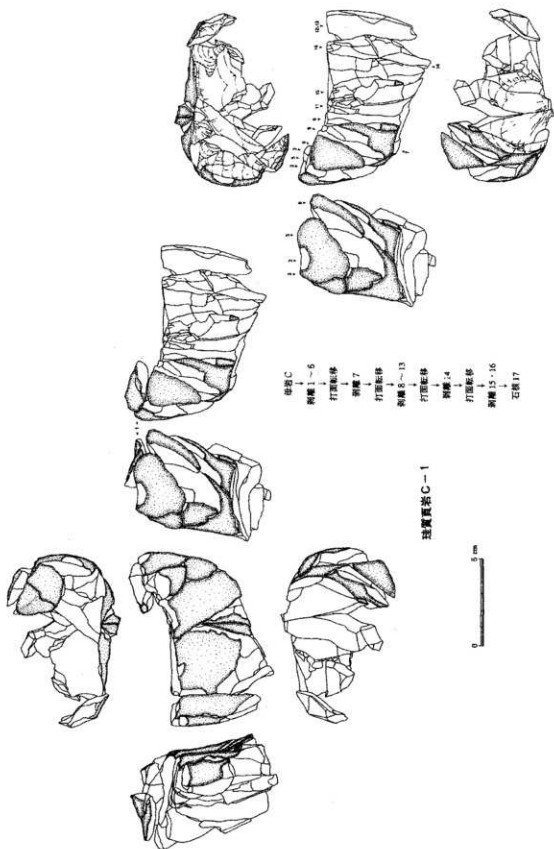
第2図 上林遺跡 第II文化層出土石器 (2)



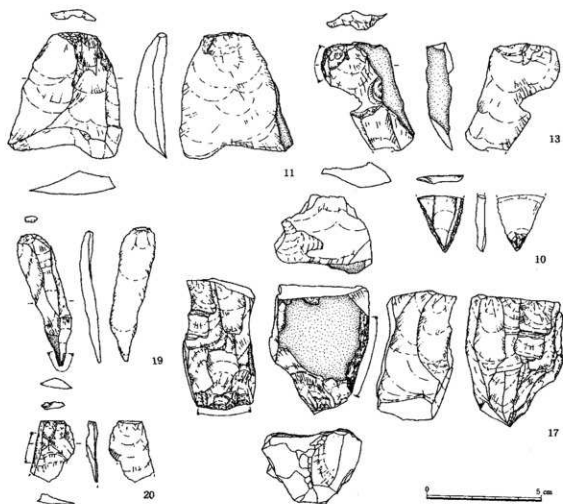
第3図 大志白遺跡 1・6地区出土石器



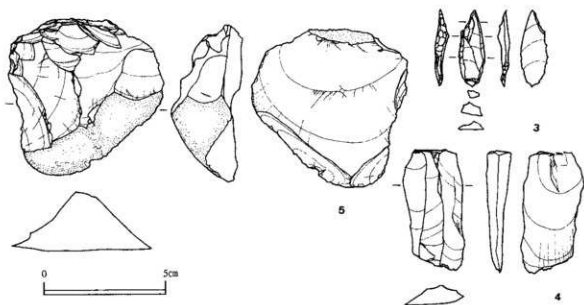
第4図 大志白遺跡 4・5・7地区出土石器



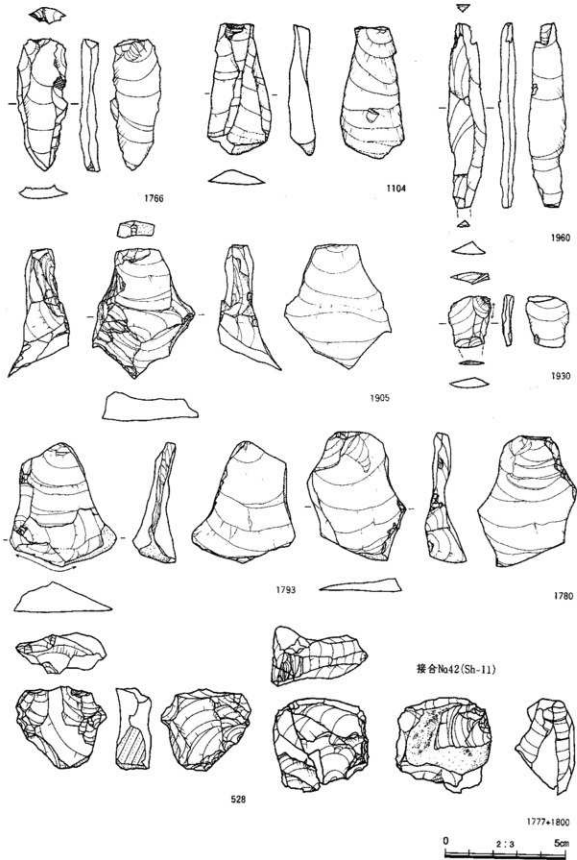
第5図 上神主・茂原遺跡 第1ブロック出土石器 (1)



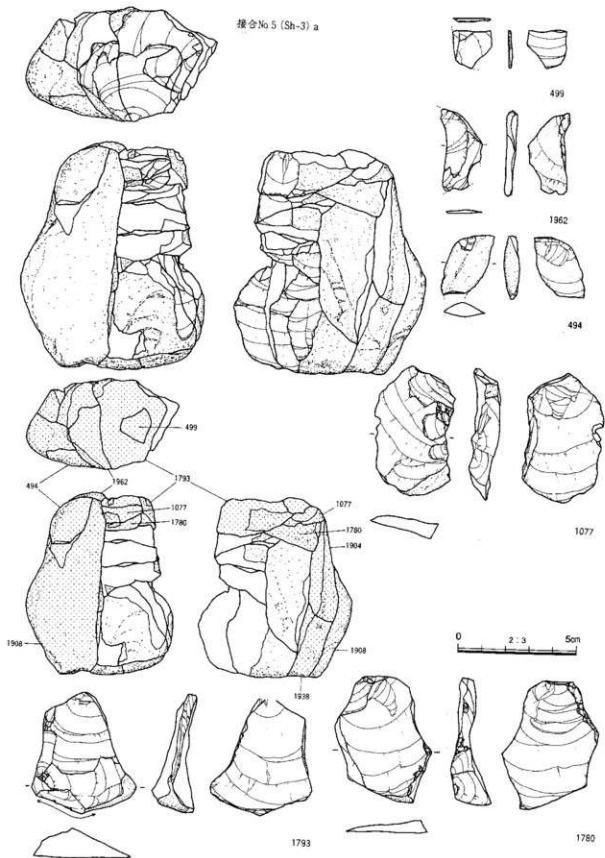
第6図 上神主・茂原遺跡 第1ブロック出土石器(2)



第7図 塚崎遺跡 第2文化層ブロックB出土石器

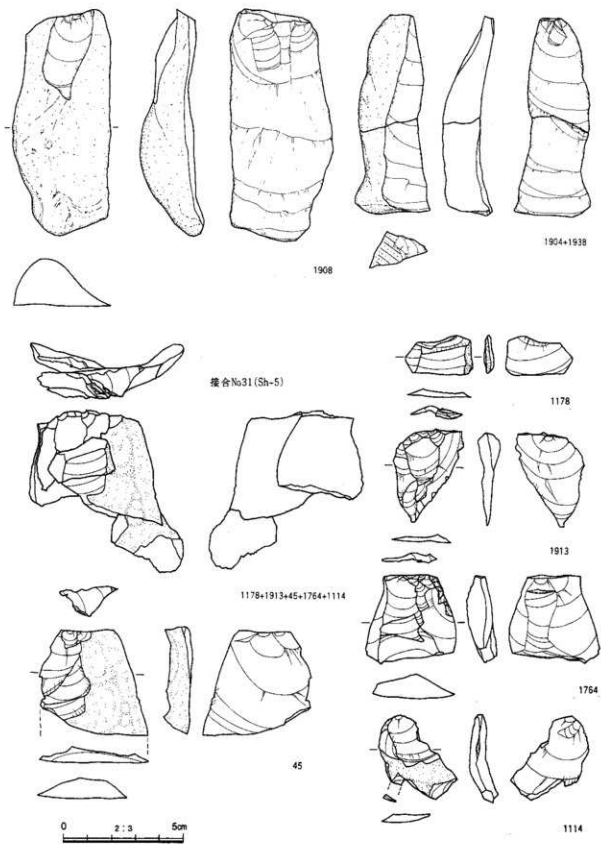


第8図 伊勢崎II遺跡 第II文化層2号ブロック出土石器(1)

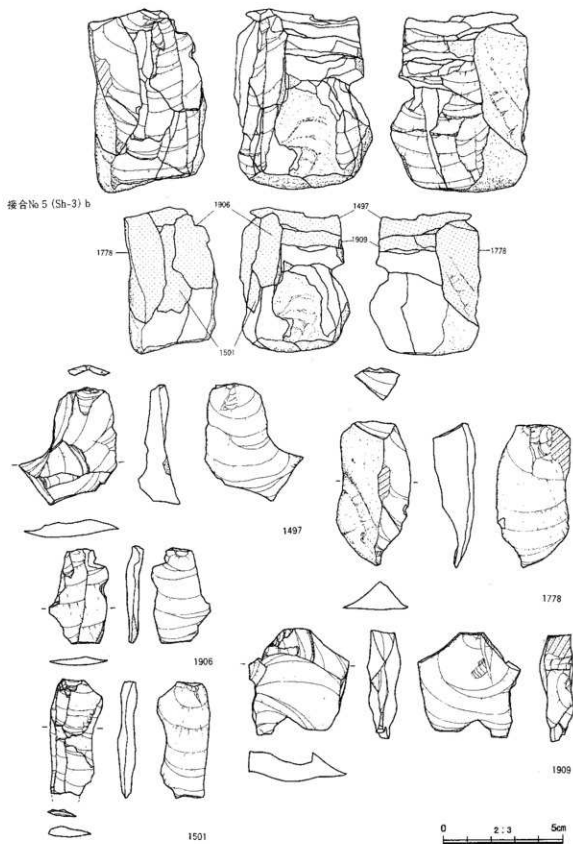


第9図 伊勢崎II遺跡 第II文化層2号ブロック出土石器(2)

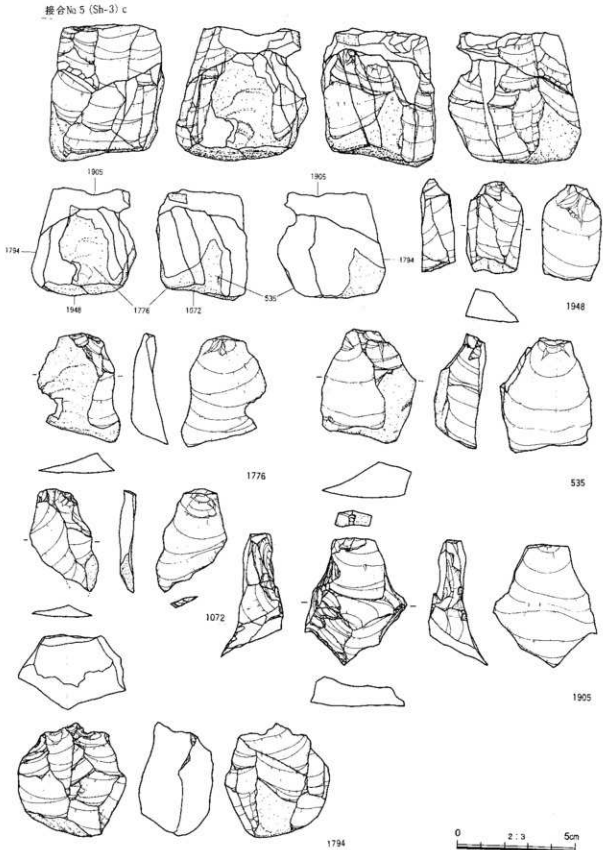




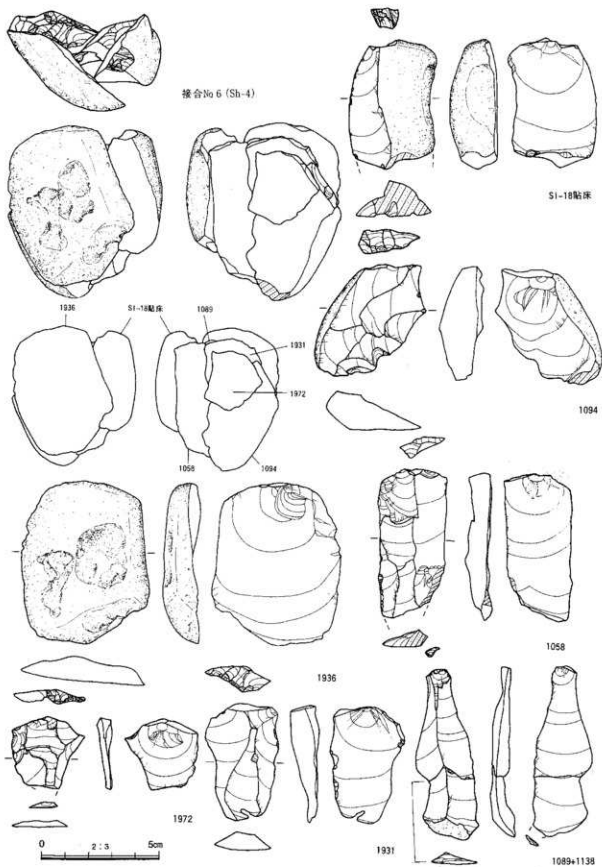
第10図 伊勢崎II遺跡 第II文化層2号ブロック出土石器(3)



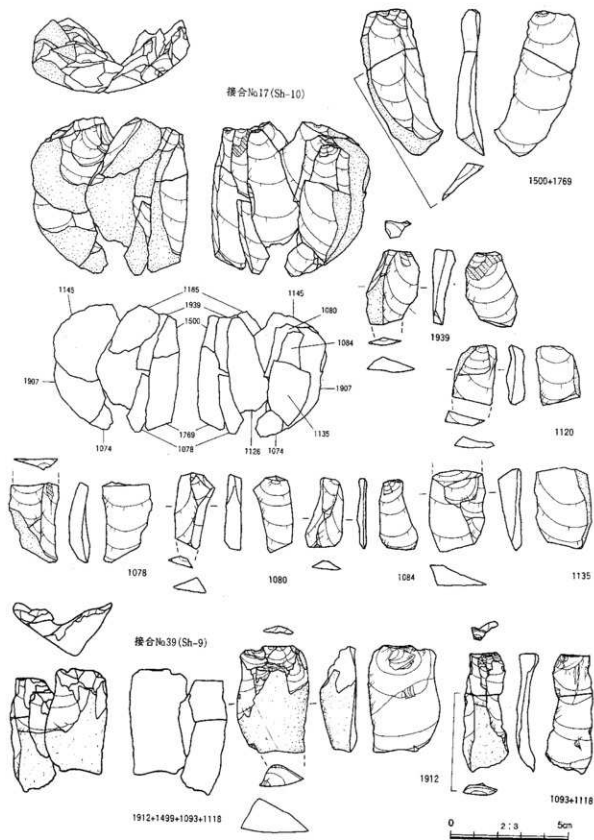
第11図 伊勢崎II遺跡 第II文化層2号ブロック出土石器(4)



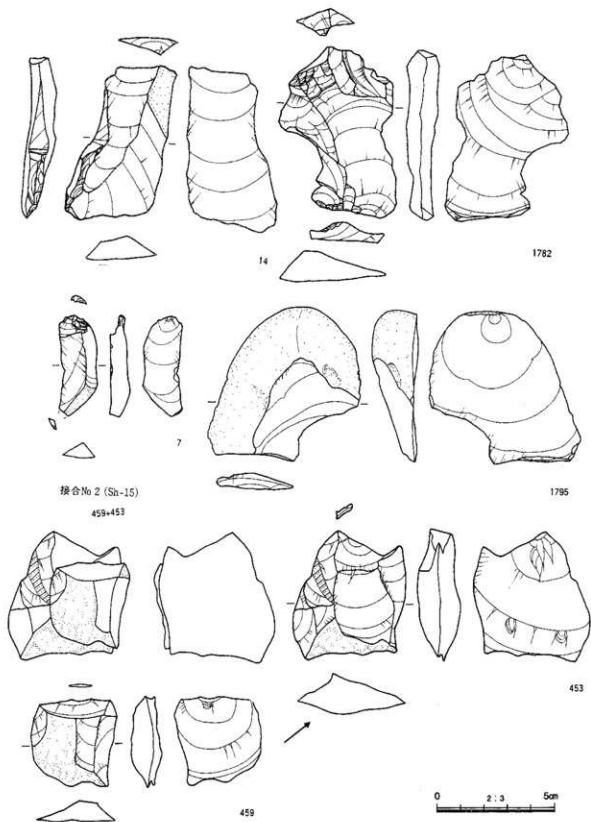
第12図 伊勢崎II遺跡 第II文化層2号ブロック出土石器(5)



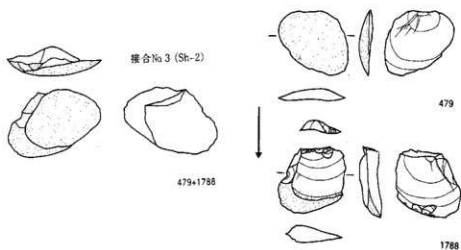
第13図 伊勢崎II遺跡 第II文化層2号ブロック出土石器(6)



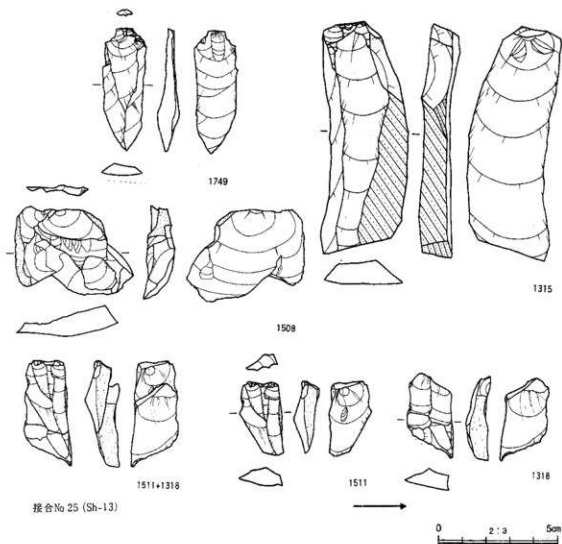
第14図 伊勢崎II遺跡 第II文化層2号ブロック出土石器(7)



第15図 伊勢崎Ⅱ遺跡 第Ⅱ文化層3号ブロック出土石器(1)

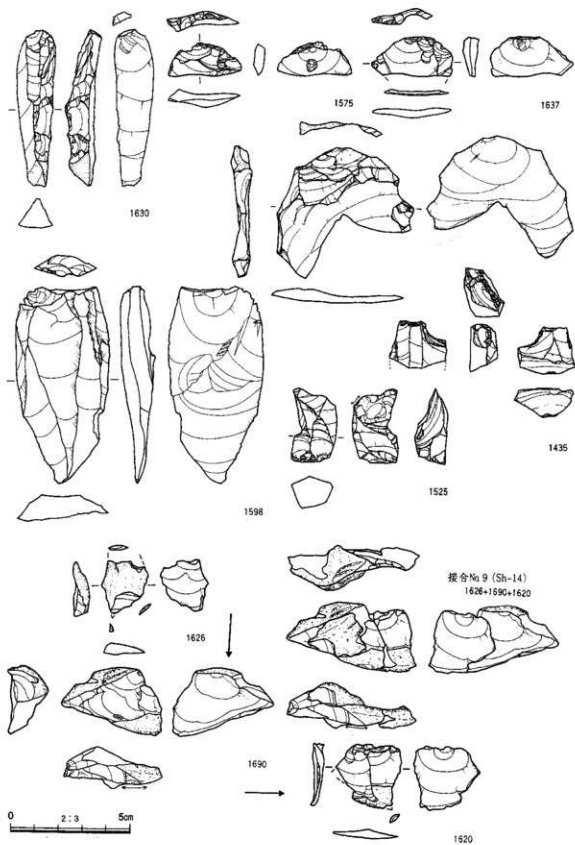


第16図 伊勢崎Ⅱ遺跡 第Ⅱ文化層3号ブロック出土石器（2）



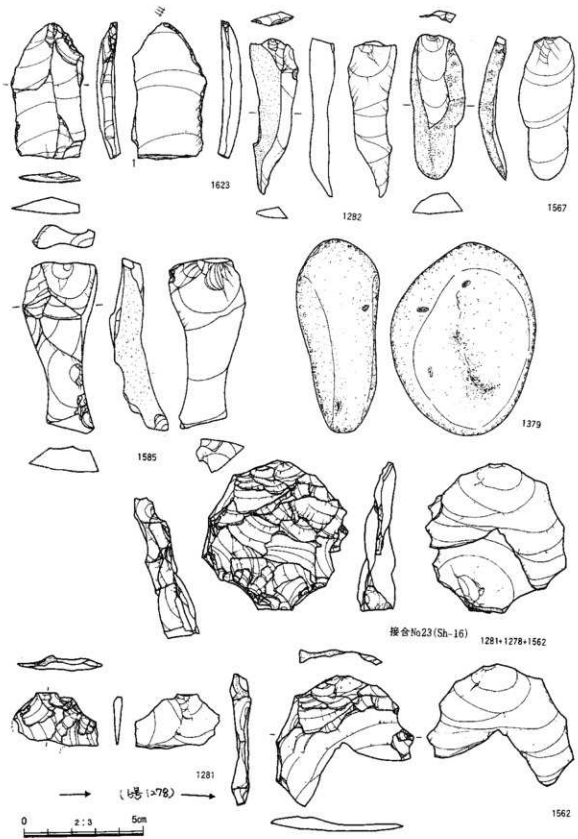
接合No 25 (Sh-13)

第17図 伊勢崎Ⅱ遺跡 第Ⅱ文化層4号ブロック出土石器

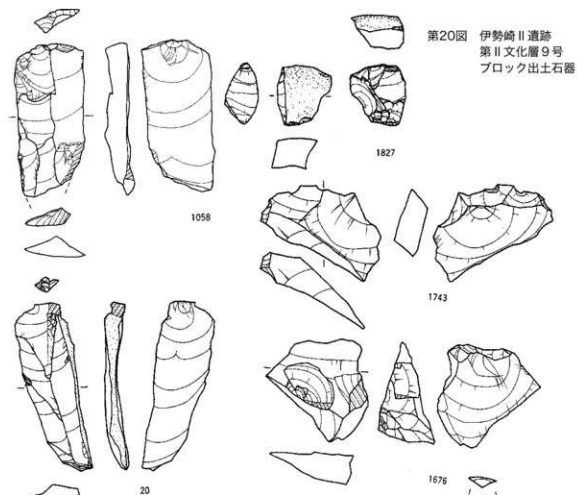


第18図 伊勢崎Ⅱ遺跡 第Ⅱ文化層5号ブロック出土石器

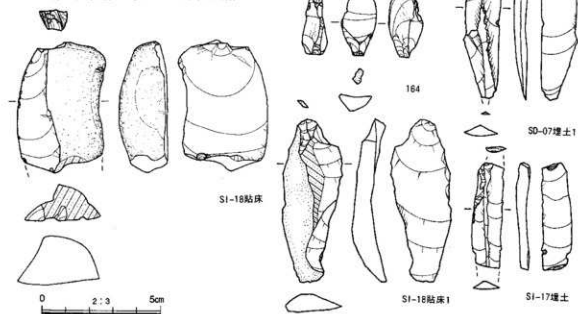




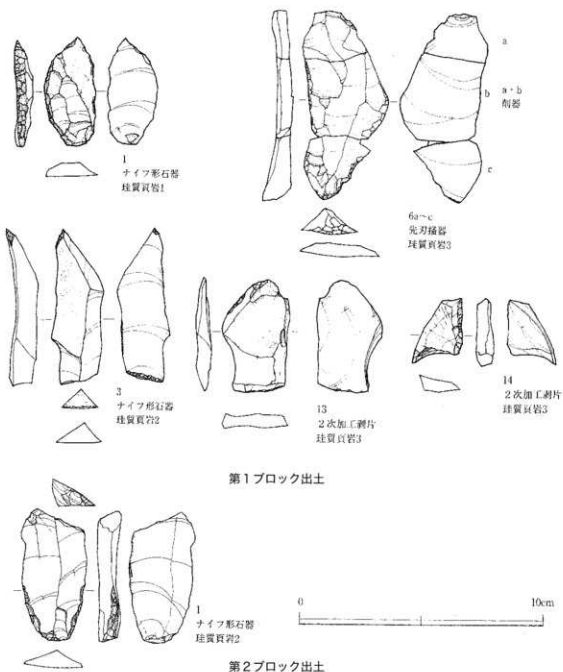
第19図 伊勢崎II遺跡 第II文化層6号ブロック出土石器



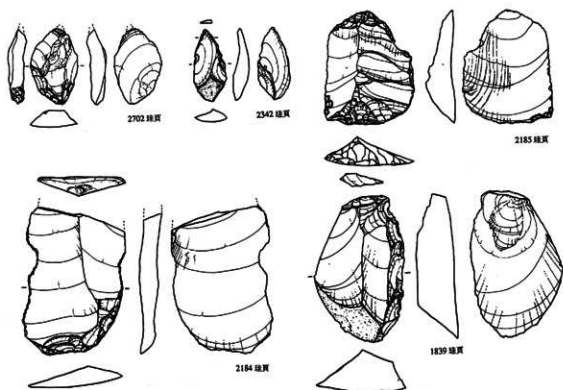
第21図 伊勢崎II遺跡  
第II文化層10号ブロック出土石器



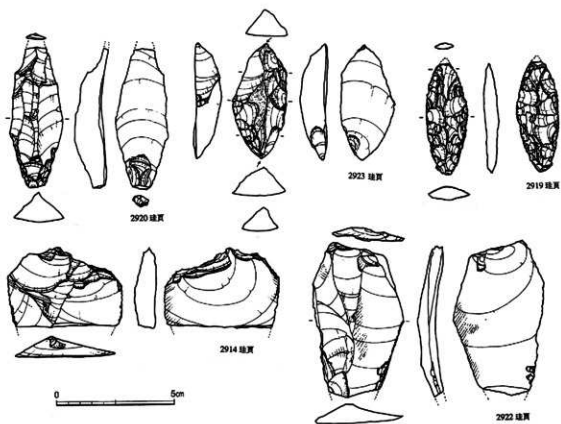
第22図 伊勢崎II遺跡 ブロック外出土石器



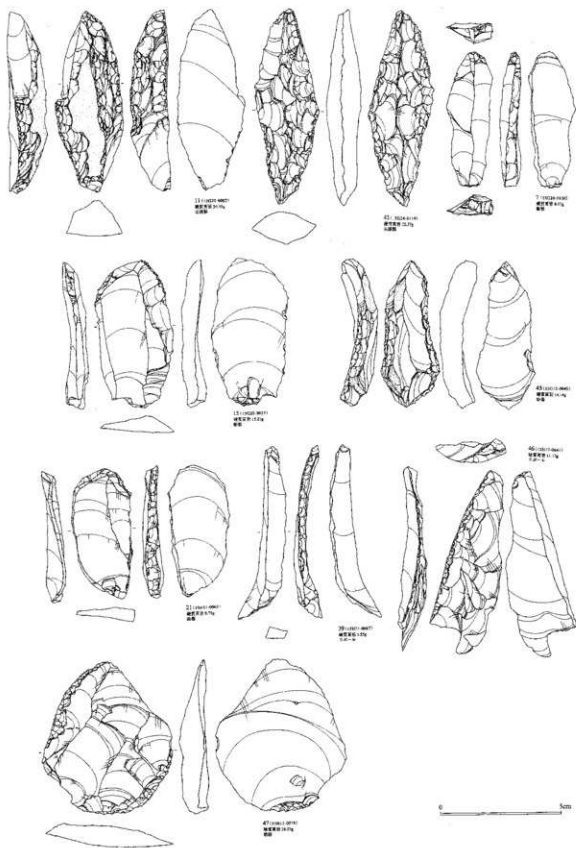
第23図 寺平遺跡 第2文化層出土石器



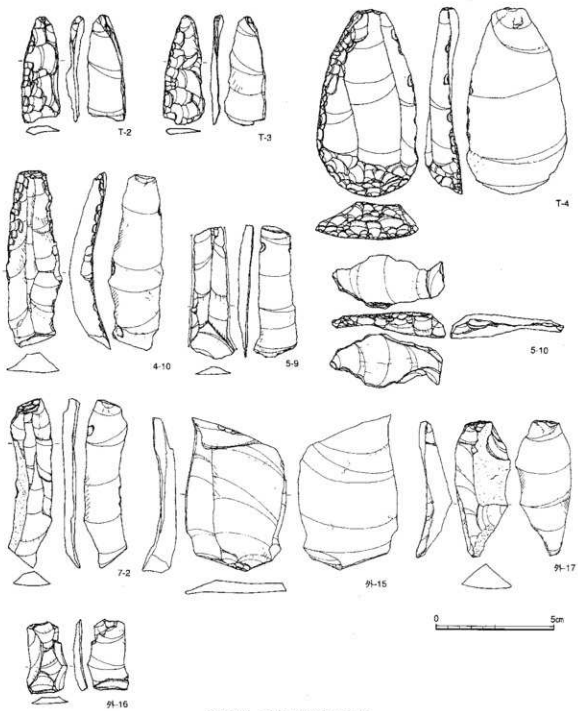
第24図 三ノ谷東遺跡 III地区第2文化層出土石器



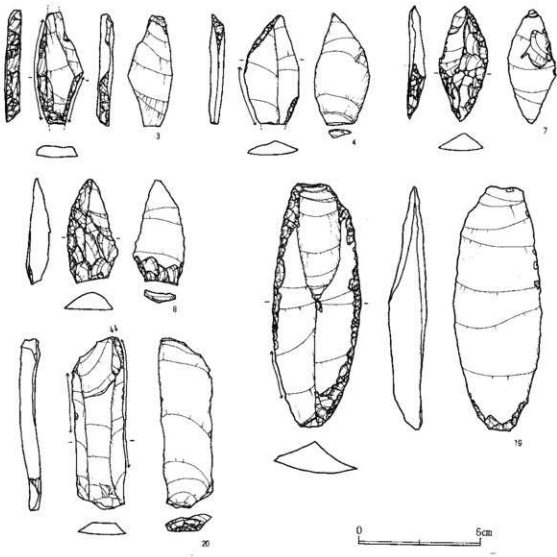
第25図 三ノ谷東遺跡 第2文化層ブロック外出土石器



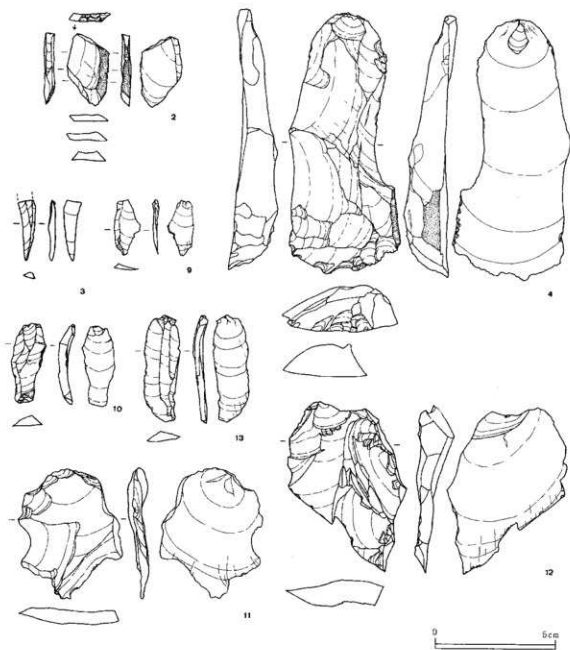
第26図 上林遺跡 第1文化層出土石器（1）



第27図 エグロ遺跡出土石器

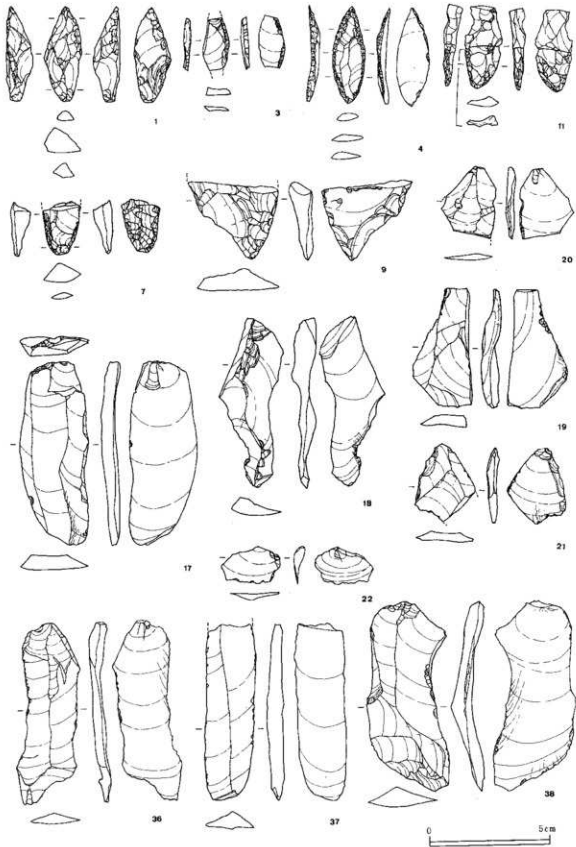


第28図 寺野東遺跡 地点外出土石器

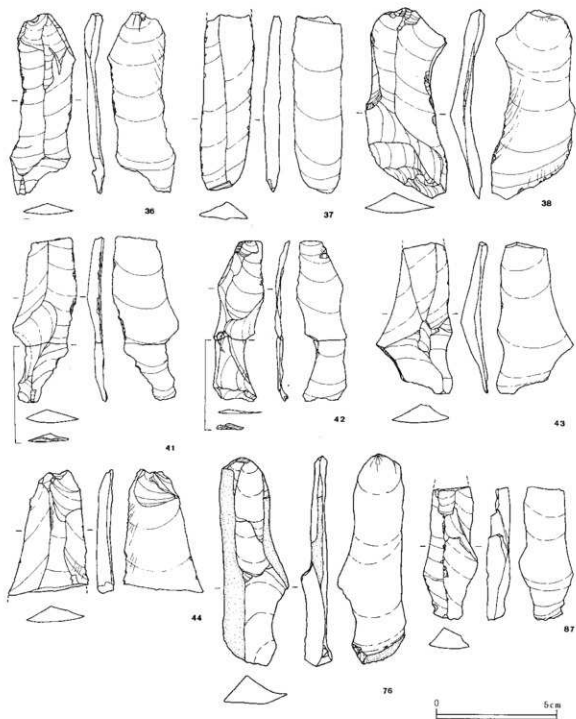


第29図 八幡根東遺跡 第1号ブロック出土石器

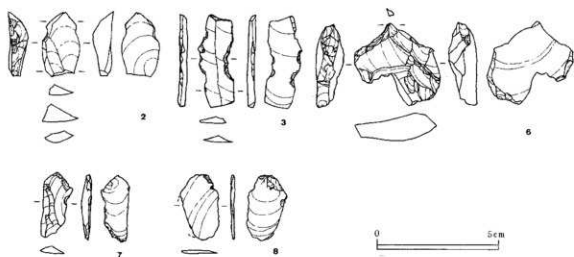




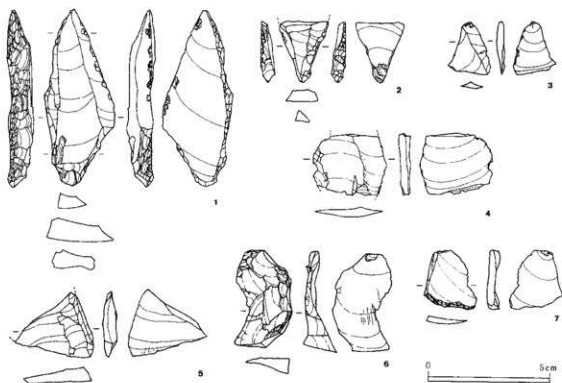
第30図 八幡根東遺跡 第3号ブロック出土石器 (1)



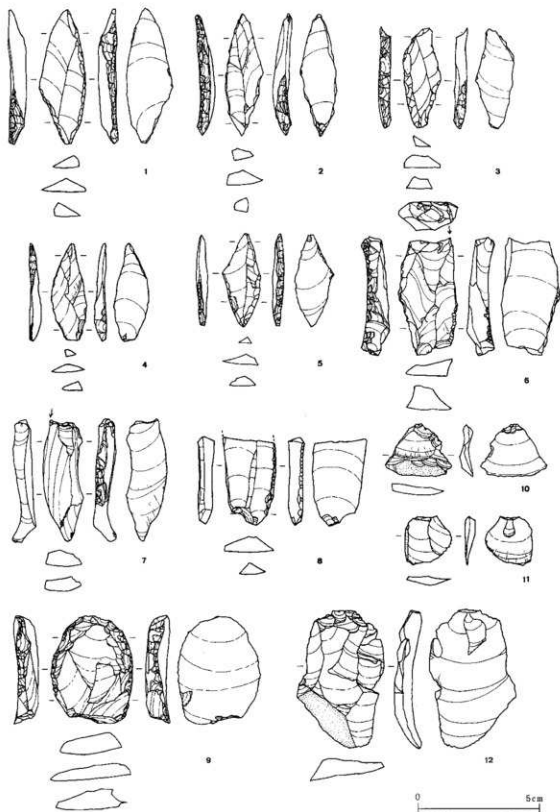
第31図 八幡根東遺跡 第3号ブロック出土石器(2)



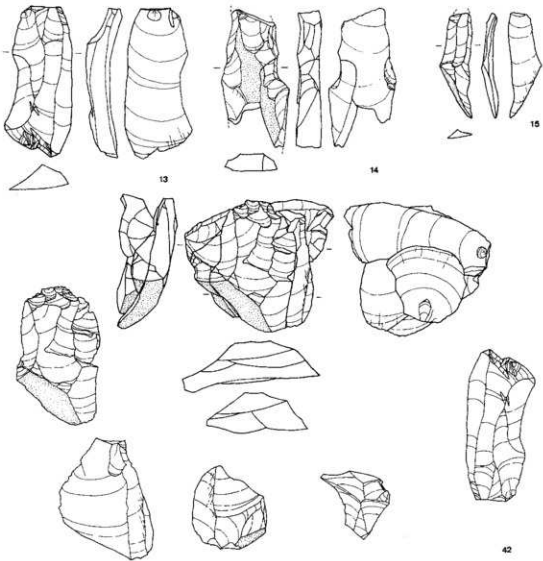
第32図 八幡根東遺跡 第2号ブロック出土石器



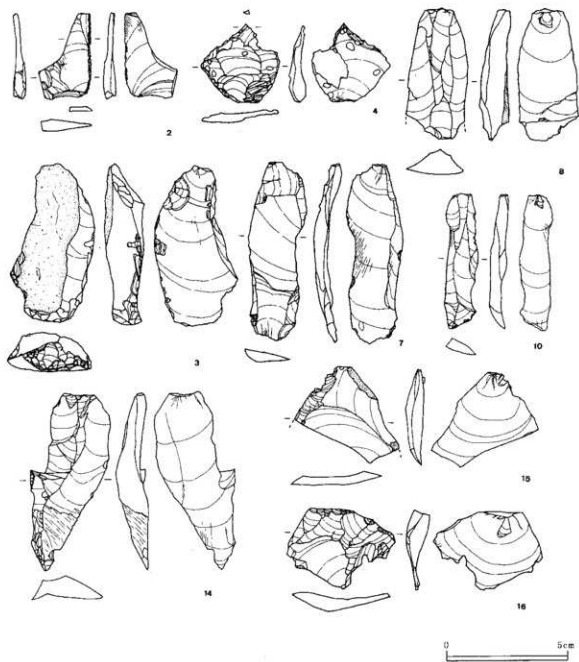
第33図 八幡根東遺跡 第4号ブロック出土石器



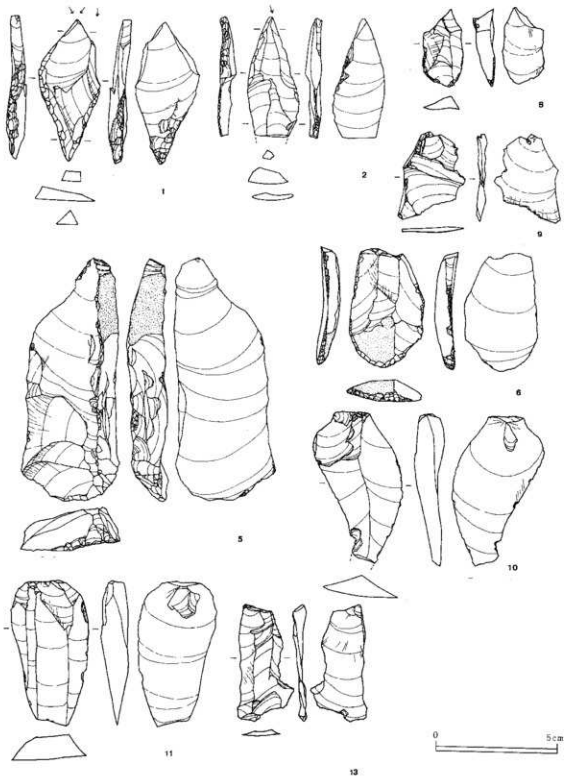
第34図 八幡根東遺跡 第5号ブロック出土石器(1)



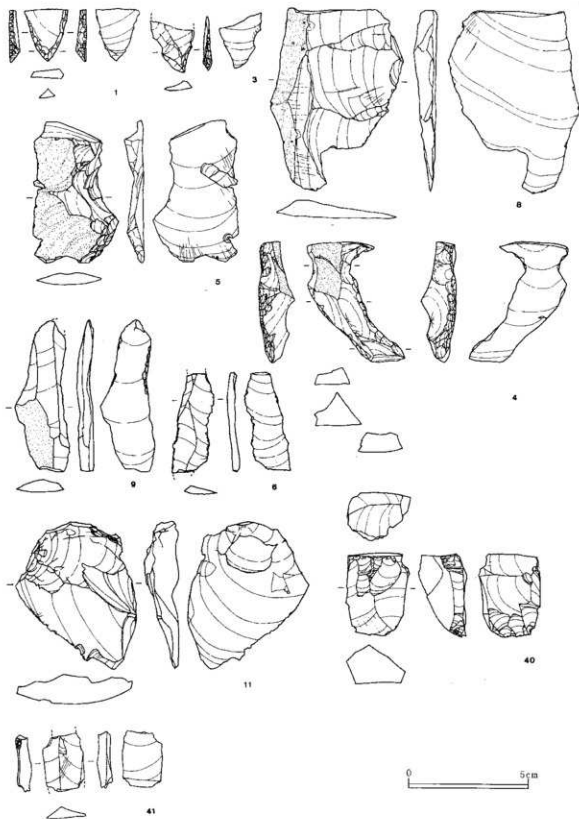
第35図 八幡根東遺跡 第5号ブロック出土石器（2）



第36図 八幡根東遺跡 第6号ブロック出土石器

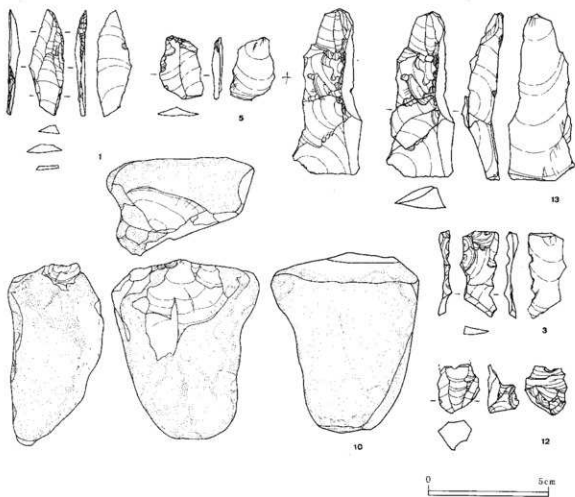


第37図 八幡根東遺跡 第7号ブロック出土石器

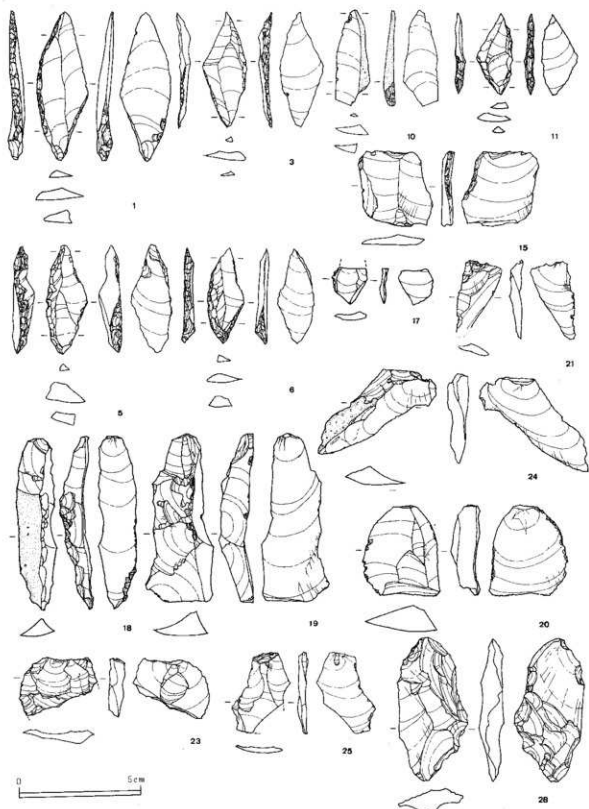


第38図 八幡根東遺跡 第8号ブロック出土石器

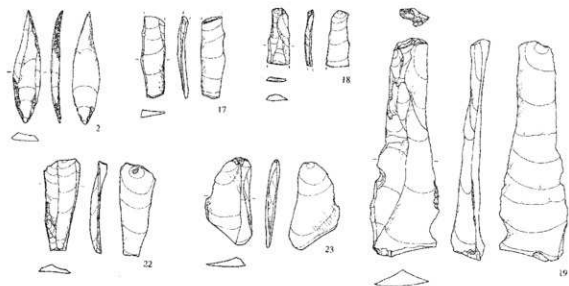




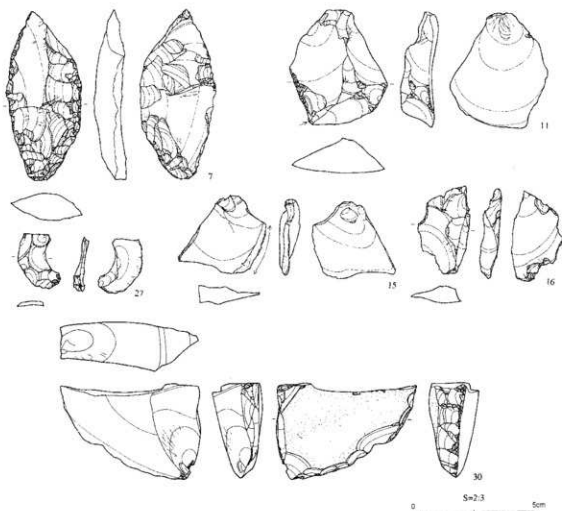
第39図 八幡根東遺跡 第9号ブロック出土石器



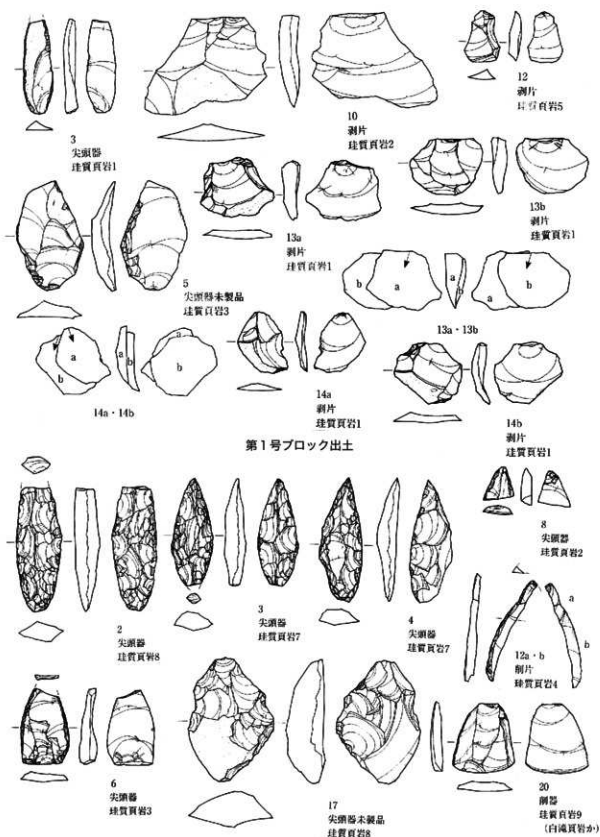
第40図 八幡根東遺跡 ブロック外出土石器



第41図 多功南原遺跡 第6号ブロック出土石器

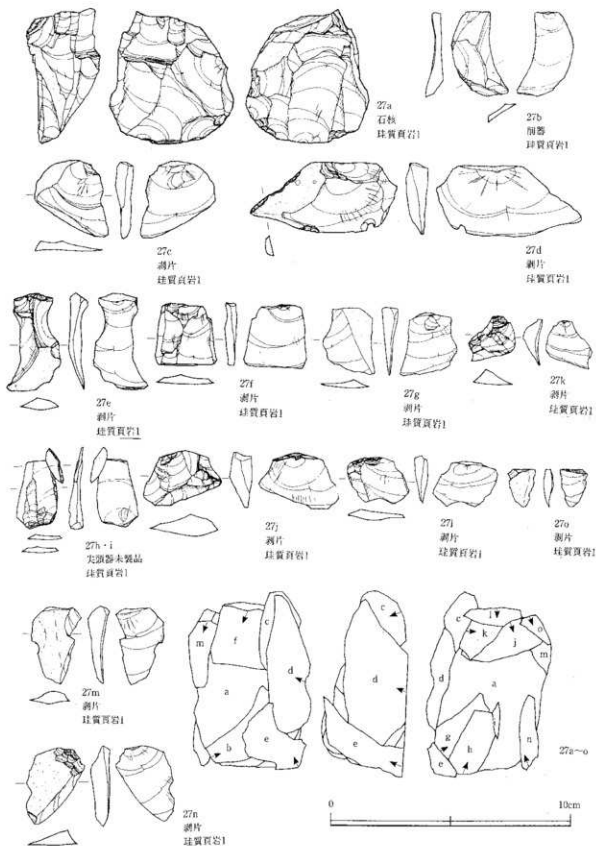


第42図 多功南原遺跡 ブロック外出土石器



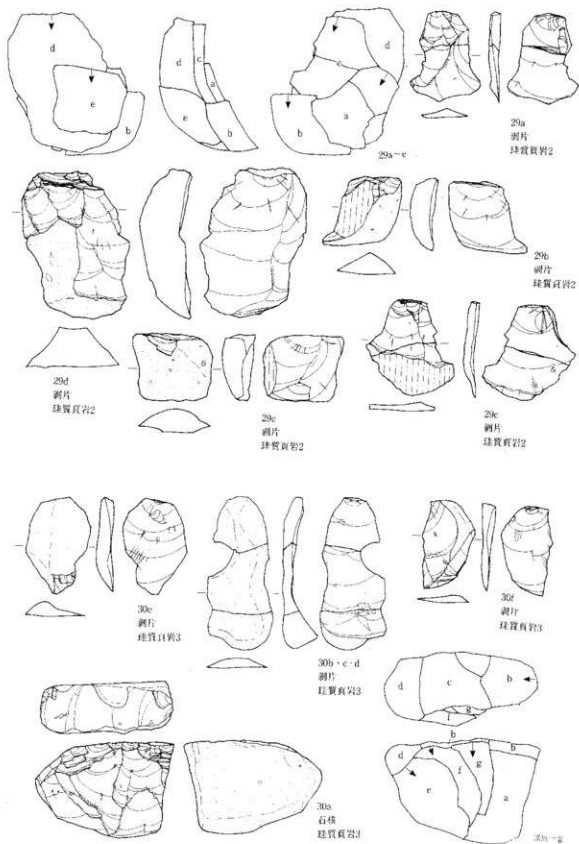
第2号ブロック出土 (1)

第43図 寺平遺跡 第1文化層出土石器 (1)



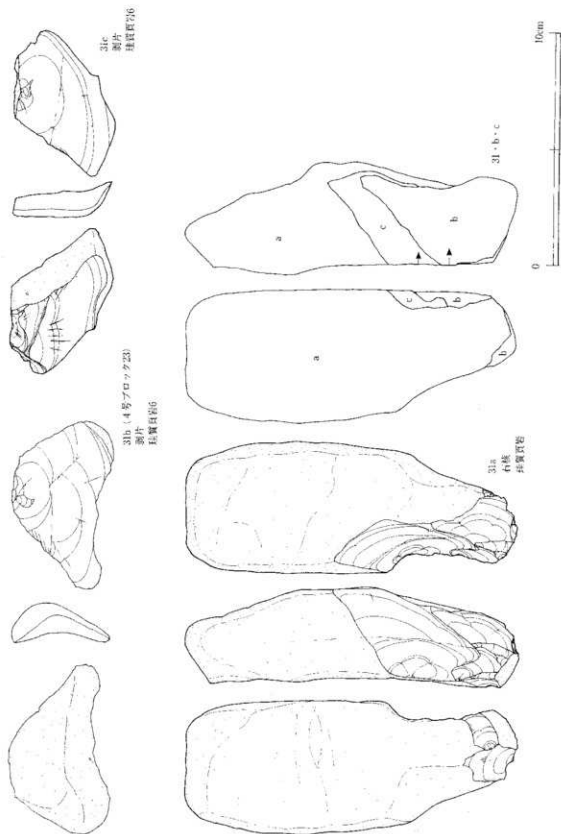
第2号ブロック出土 (2)

第44図 寺平遺跡 第1文化層出土石器 (2)



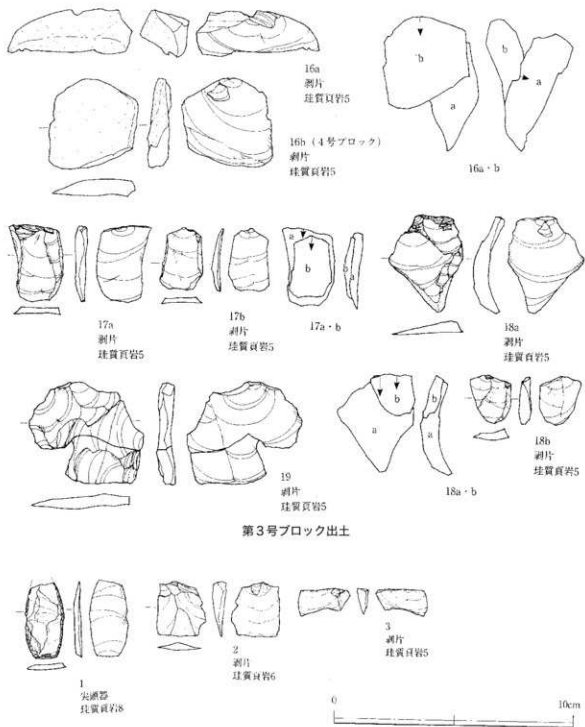
第2号ブロック出土 (3)

第45図 寺平遺跡 第1文化層出土石器 (3)



第2号ブロック出土（4）

第46図 寺平遺跡 第1文化層出土石器（4）

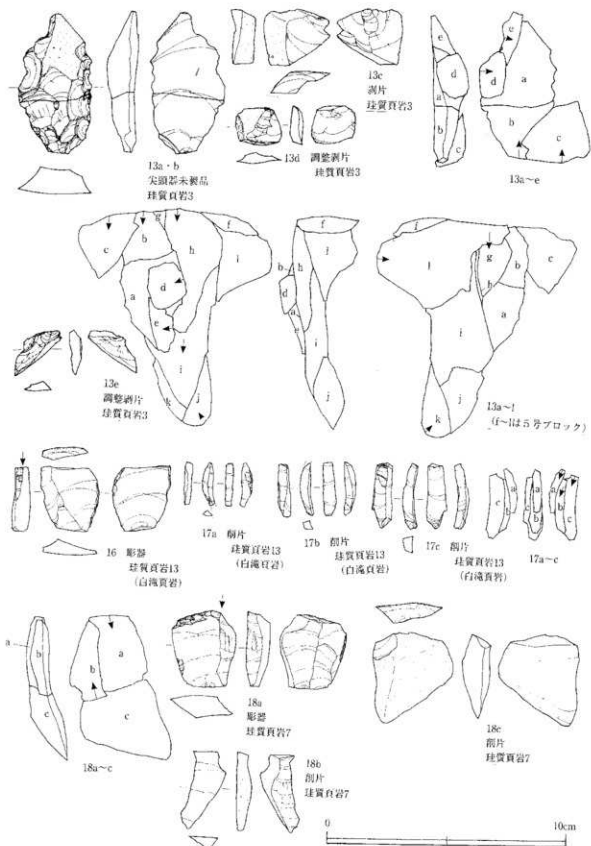


第3号ブロック出土

第6号ブロック出土

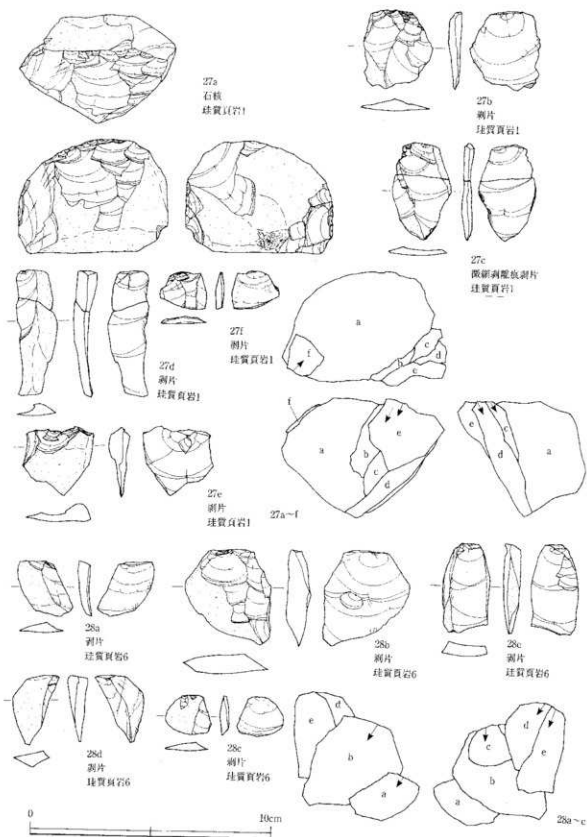
第47図 寺平遺跡 第1文化層出土石器(5)





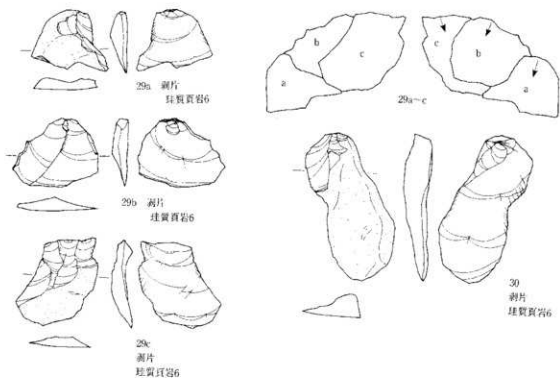
第4号ブロック出土 (1)

第48図 寺平遺跡 第1文化層出土石器 (6)

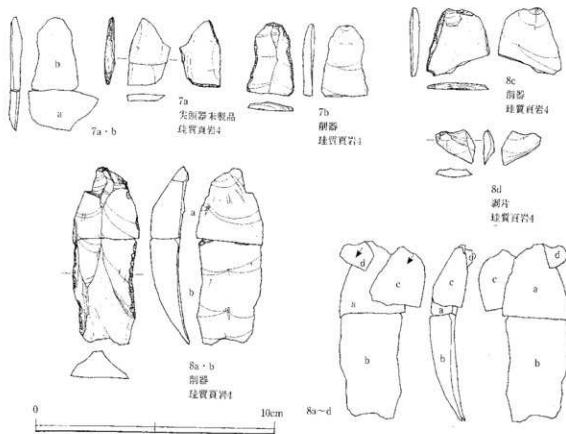


第4号ブロック出土(2)

第49図 寺平遺跡 第1文化層出土石器(7)

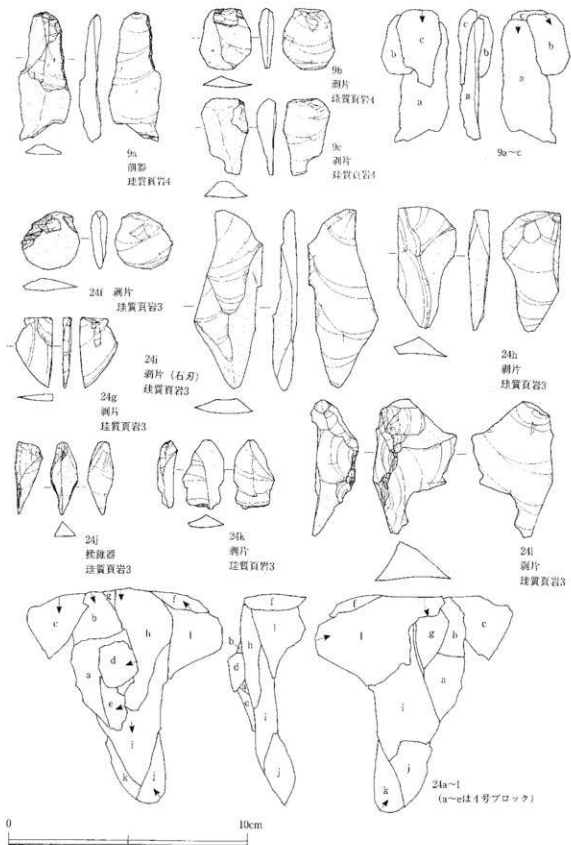


第4号ブロック出土 (3)



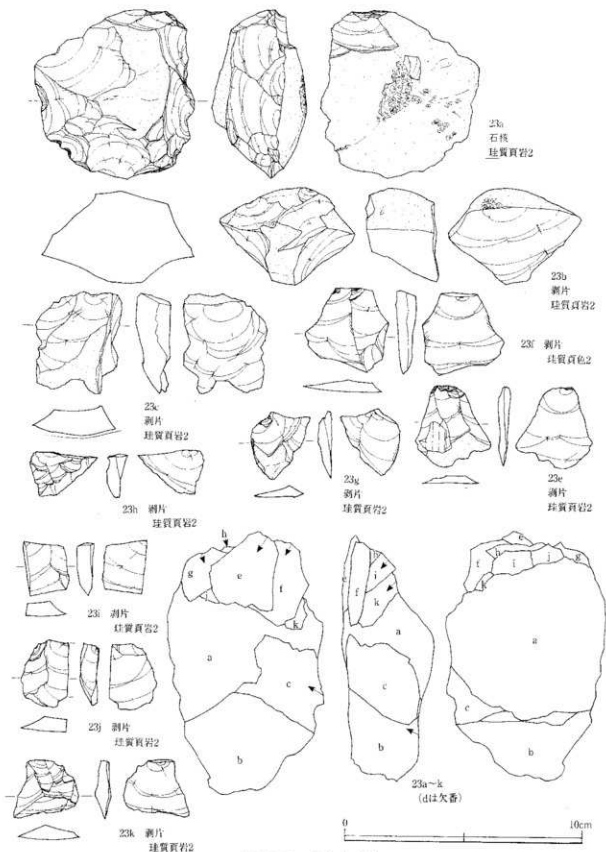
第5号ブロック出土 (1)

第50図 寺平遺跡 第1文化層出土石器 (8)



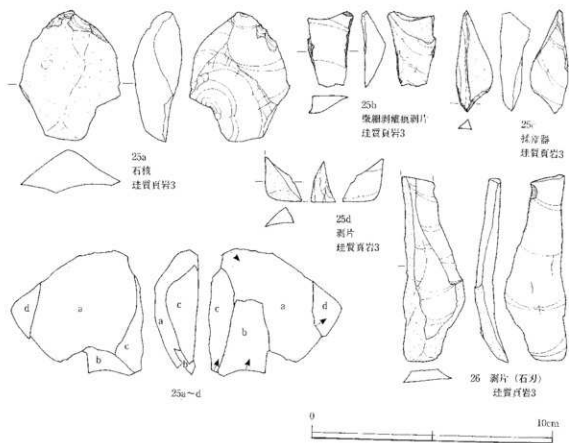
第5号ブロック出土 (2)

第51図 寺平遺跡 第1文化層出土石器 (9)



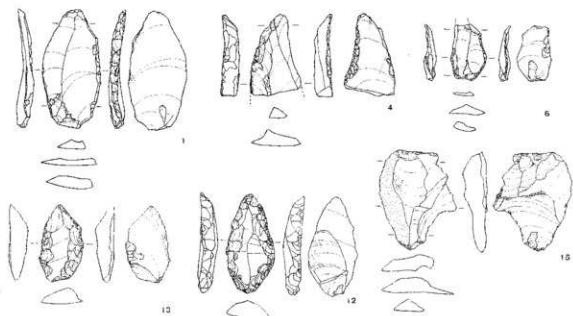
第5号ブロック出土 (3)

第52図 寺平遺跡 第1文化層出土石器 (10)



第5号ブロック出土(4)

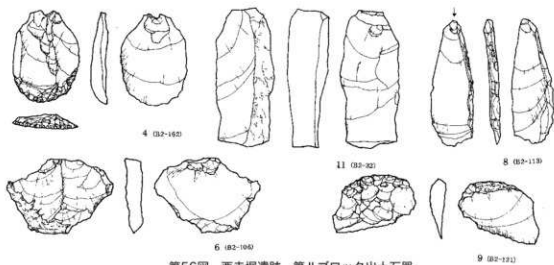
第53図 寺平遺跡 第1文化層出土石器(11)



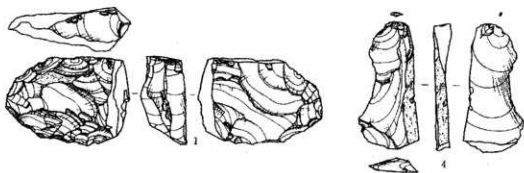
第54図 西裏遺跡出土石器



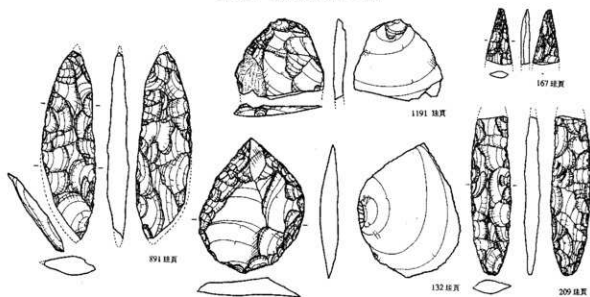
第55図 小倉水神社裏遺跡 ユニット外出土石器



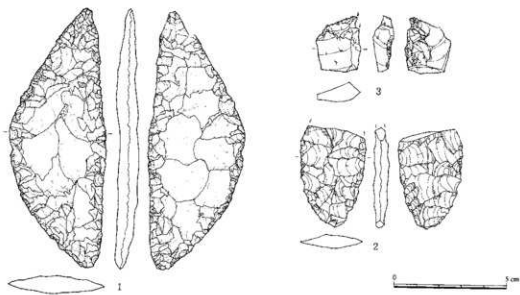
第56図 西赤堀遺跡 第IIブロック出土石器



第57图 赤羽根遺跡出土石器

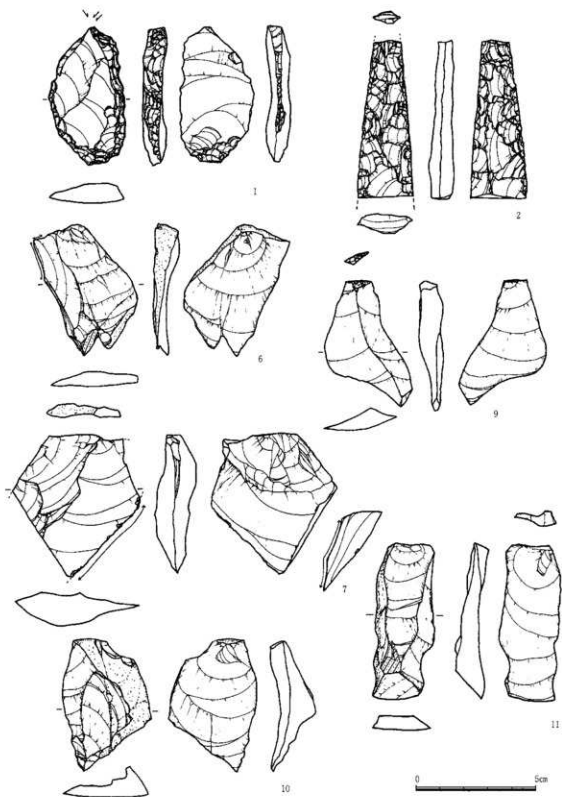


第58图 三ノ谷東遺跡 III地区第1文化層出土石器

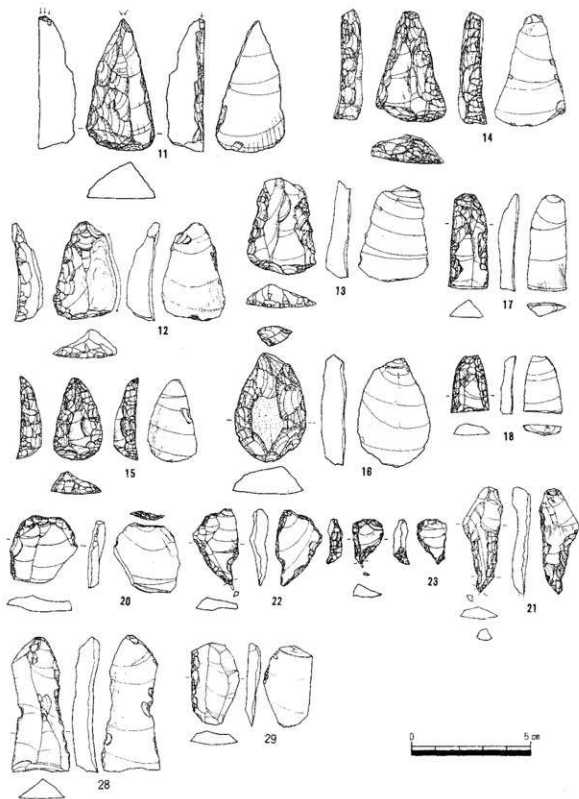


第59图 山崎北遺跡 包含層出土石器

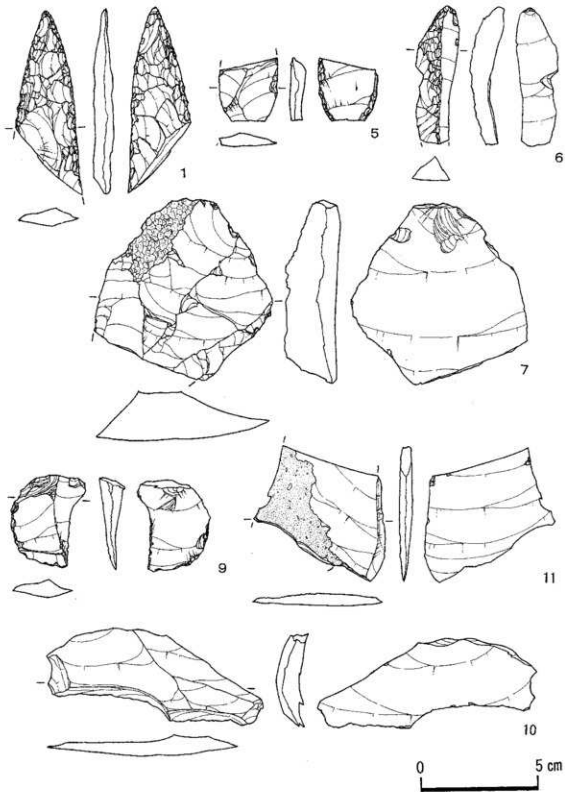




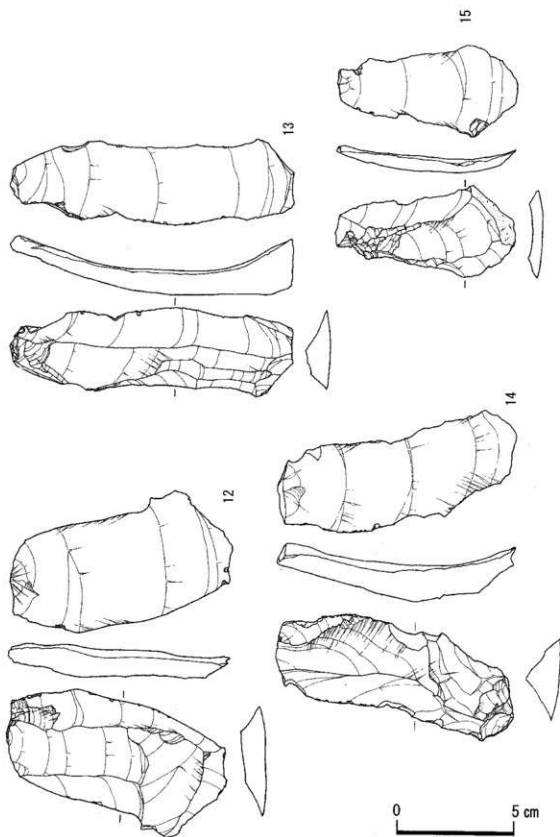
第60図 那須官衙関連遺跡 後世の遺構内出土石器



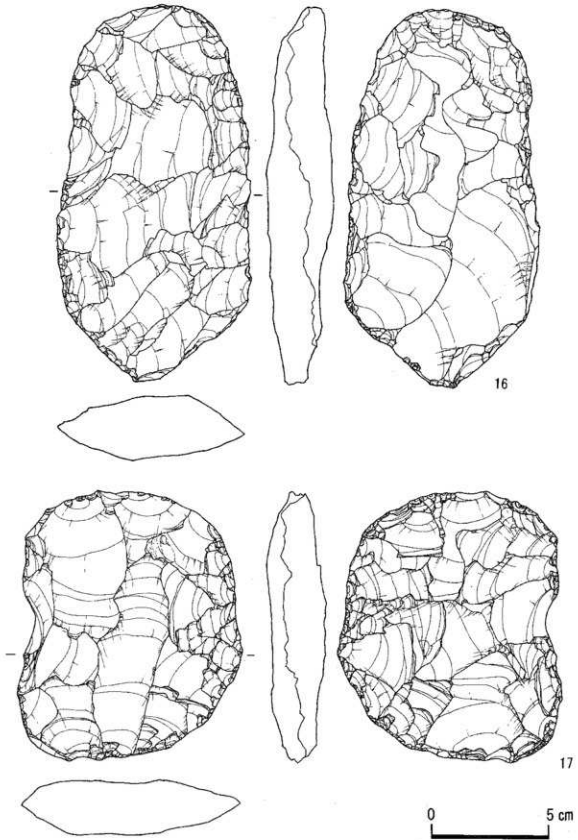
第61圖 川木谷遺跡出土石器



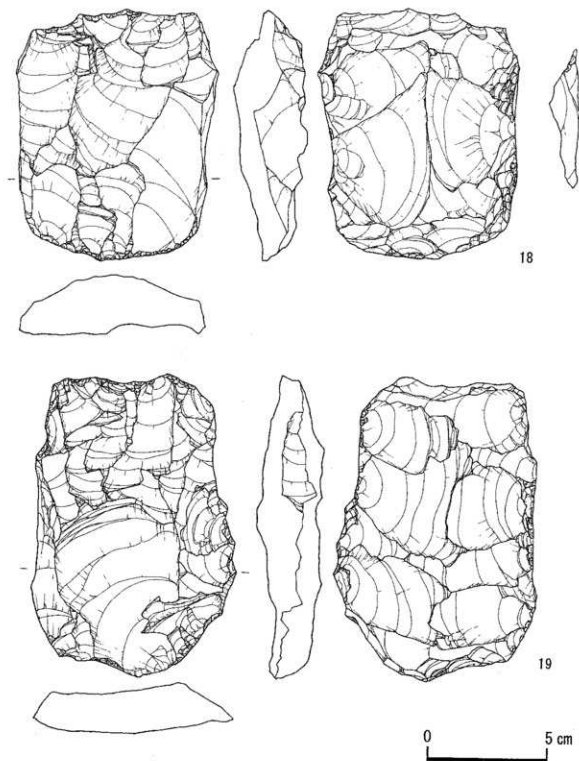
第62図 片府田富士山遺跡 後世の遺構内出土石器 (1)



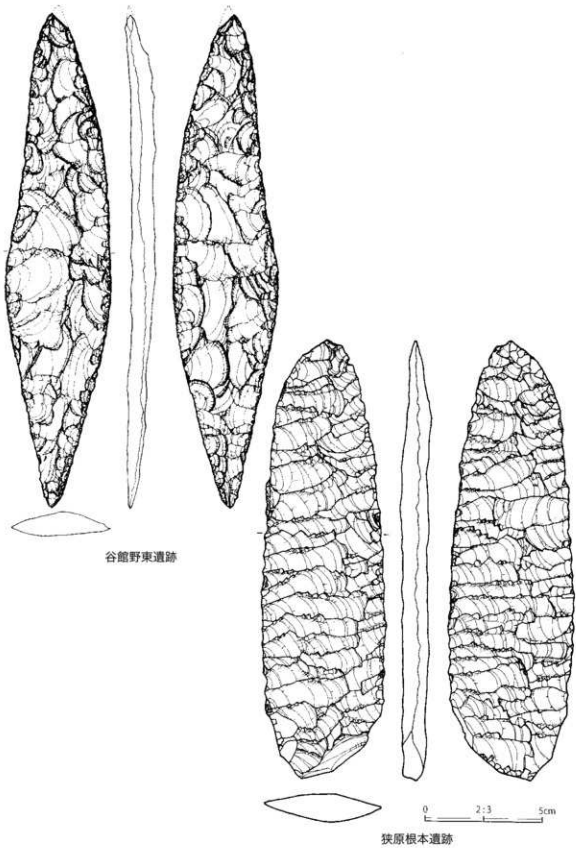
第63図 片田富士山遺跡 後世の遺構内出土石器(2)



第64図 片府田富士山遺跡 後世の遺構内出土石器（3）



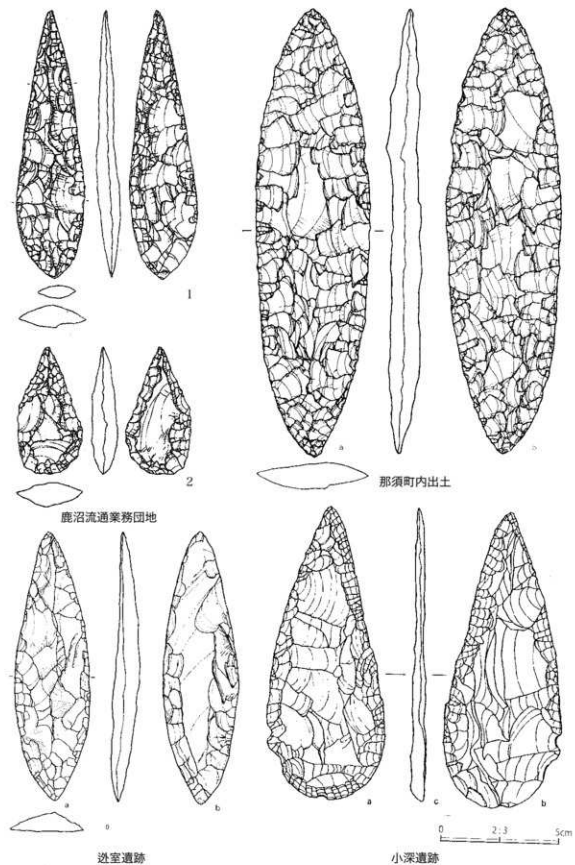
第65図 片府田富士山遺跡 後世の遺構内出土石器(4)



谷館野東遺跡

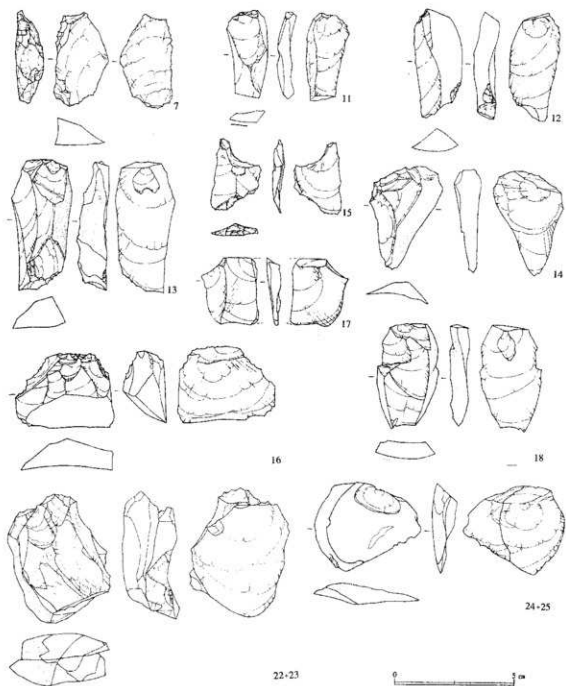
狭原根本遺跡

第66図 単独出土の大型尖頭器（1）

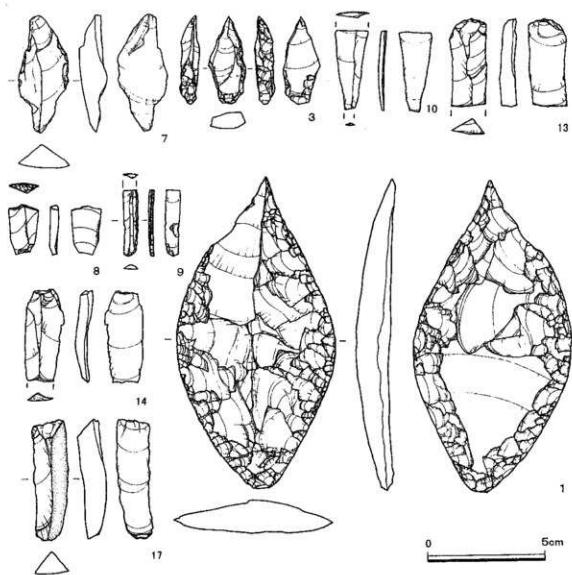


第67図 単独出土の大型尖頭器 (2)

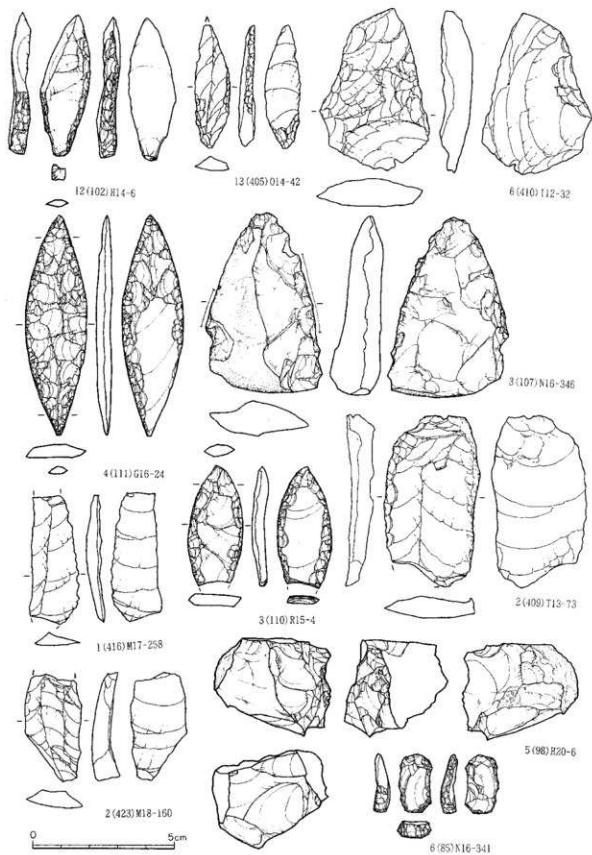




第68図 間々田六本木遺跡 3号墳周辺地区出土石器



第69図 八剣遺跡 第1ブロック(7)・後世の遺構内出土石器



第70図 西山遺跡出土石器

---

## 研究紀要 第32号

発行 公益財団法人 とちぎ未来づくり財団  
埋蔵文化財センター

〒329-0418

栃木県下野市壱474番地

TEL 0285 (44) 8441 (代表)

FAX 0285 (43) 1972

HP : <http://www.maibun.or.jp>

発行日 令和6 (2024) 年3月29日発行

印刷 第一印刷株式会社

---